

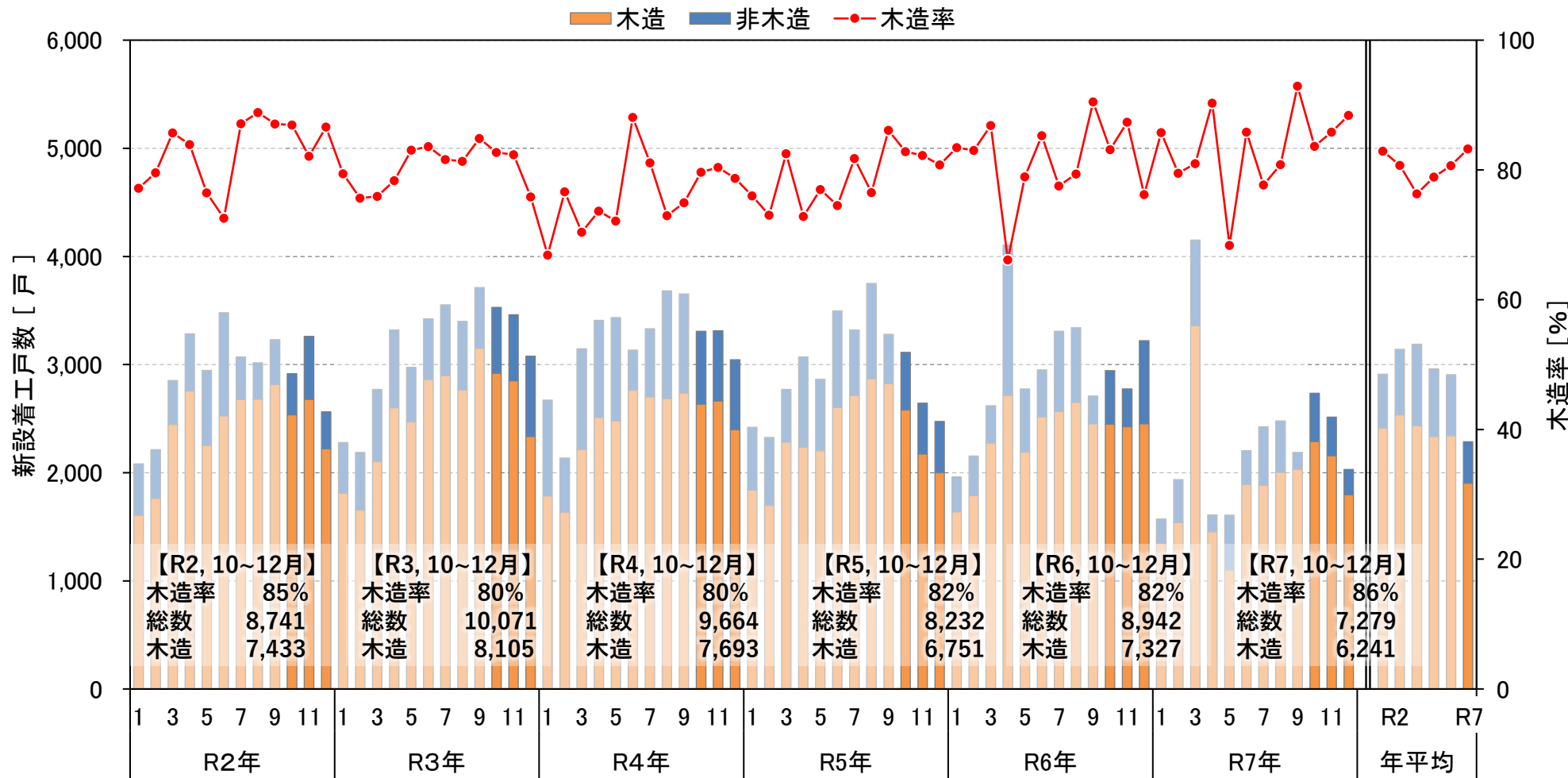
# 東北森林管理局管内の 木材需給及び木材価格等について

令和8年3月2日(月)

東北森林管理局

# ■ 東北森林管理局管内5県の新設住宅着工戸数の推移 (令和2年1月～令和7年12月)

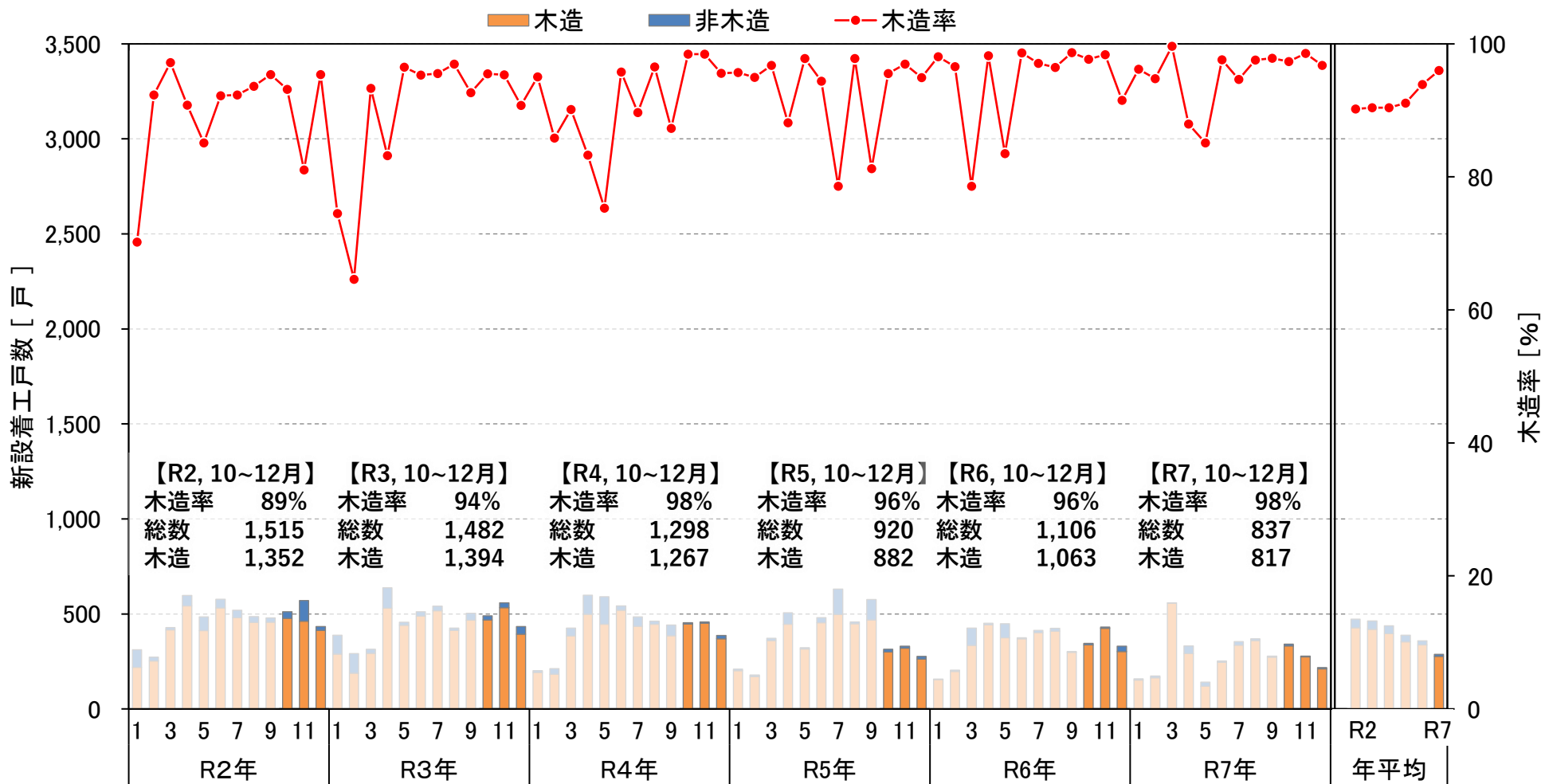
- 東北5県の令和7年10～12月期の新設住宅着工戸数は、昨年同期より1,663戸(19%)減少した。この期間の木造は昨年同期より1,086戸減少し、木造率は4%増加であった。
- 令和7年の新設住宅着工戸数は、27,419戸と昨年より21%減少した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

# ■ 青森県の新設住宅着工戸数の推移 (令和2年1月～令和7年12月)

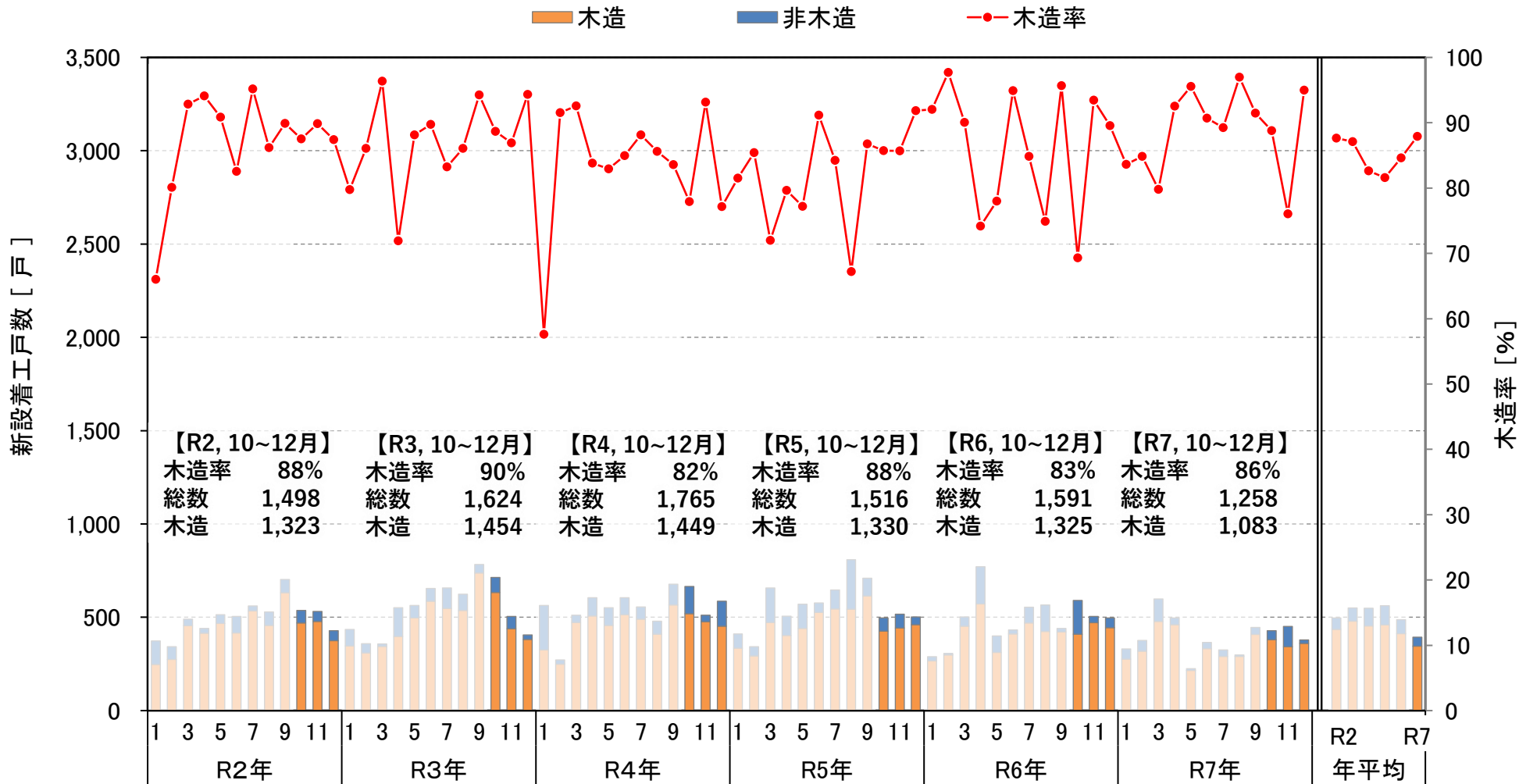
○ 青森県の令和7年10～12月期の新設住宅着工戸数は、昨年同期より269戸減少した。  
この期間の木造は246戸減少し、木造率は2%増加であった。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

# ■ 岩手県の新設住宅着工戸数の推移 (令和2年1月～令和7年12月)

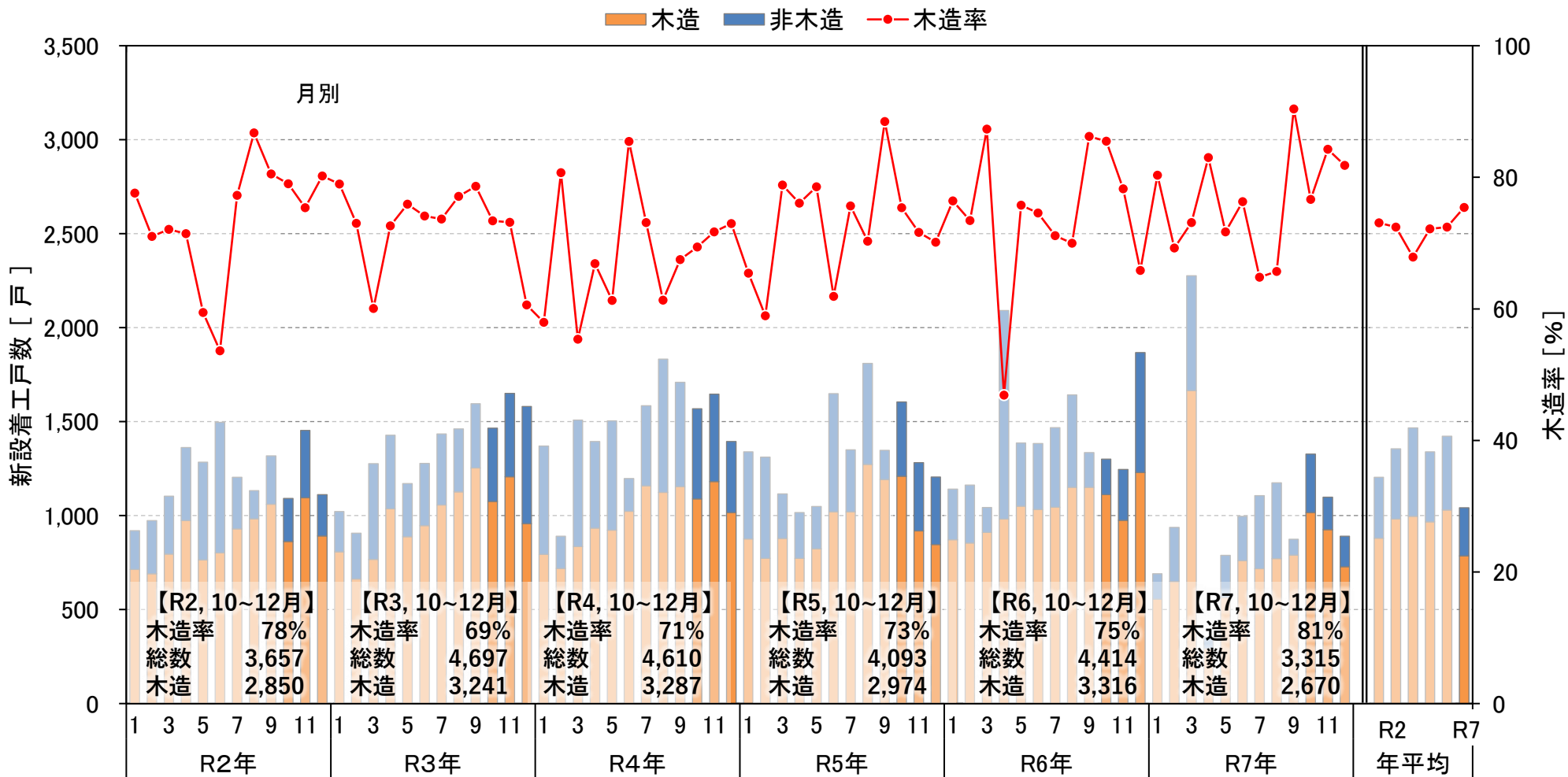
○ 岩手県の令和7年10～12月期の新設住宅着工戸数は、昨年同期より333戸減少した。  
この期間の木造は242戸減少し、木造率は3%増加であった。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

# ■ 宮城県の新設住宅着工戸数の推移 (令和2年1月～令和7年12月)

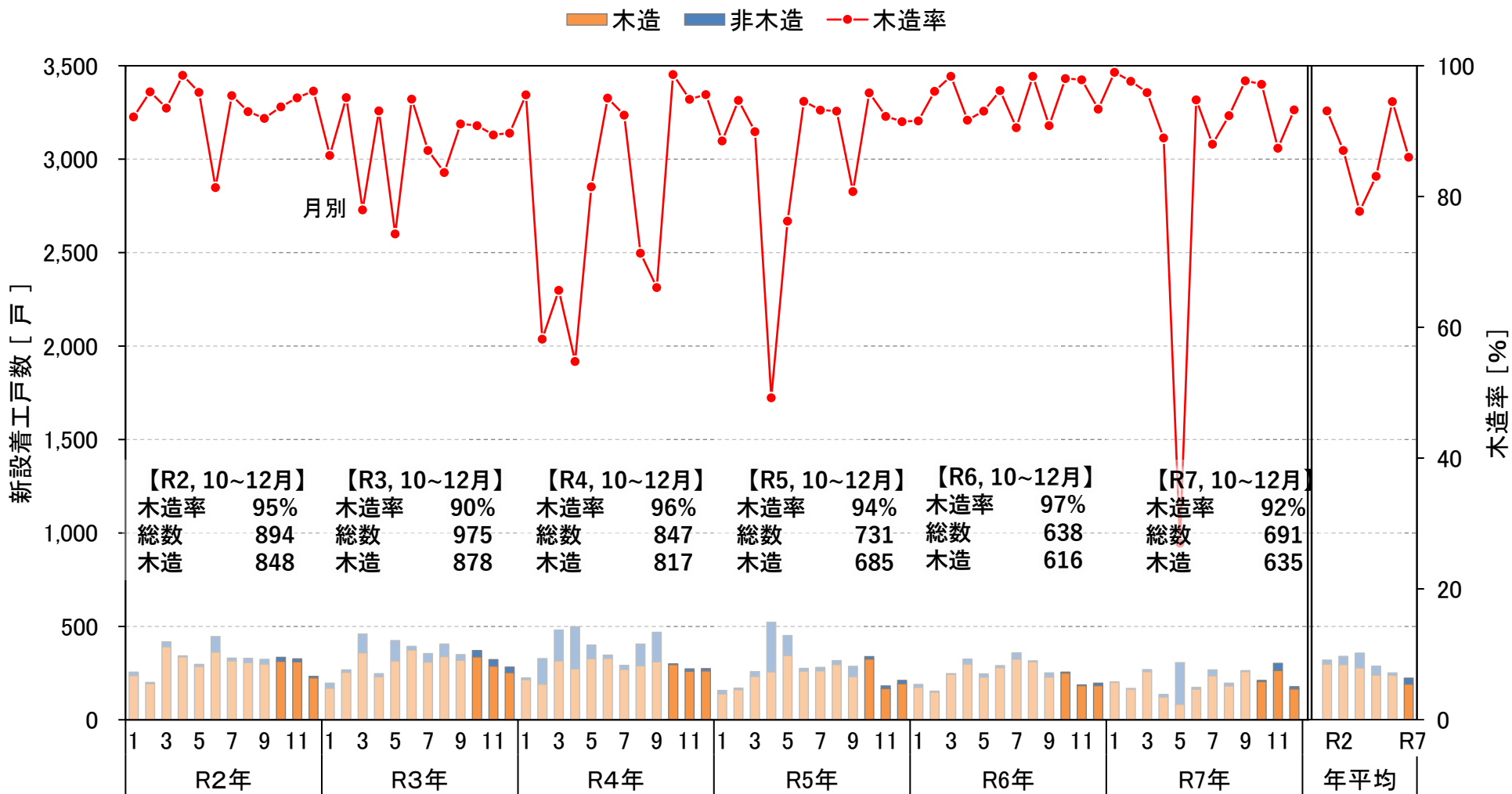
○ 宮城県の令和7年10～12月期の新設住宅着工戸数は、昨年同期より1,099戸減少した。  
この期間の木造は646戸減少し、木造率は6%増加であった。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

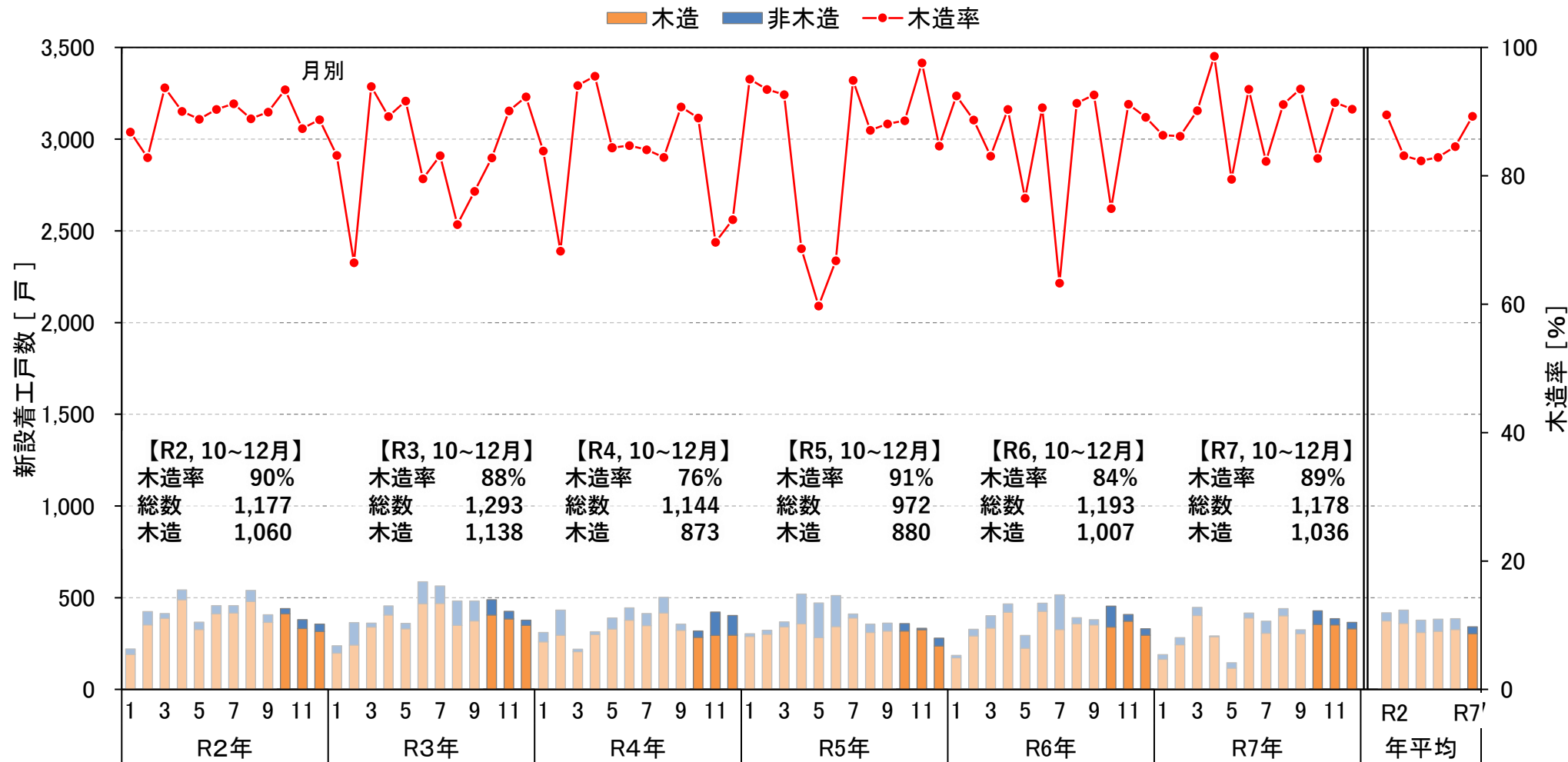
# ■ 秋田県の新設住宅着工戸数の推移 (令和2年1月～令和7年12月)

○ 秋田県の令和7年10～12月期の新設住宅着工戸数は、昨年同期より53戸増加した。  
この期間の木造は19戸増加し、木造率は5%減少であった。



# 山形県の新設住宅着工戸数の推移 (令和2年1月～令和7年12月)

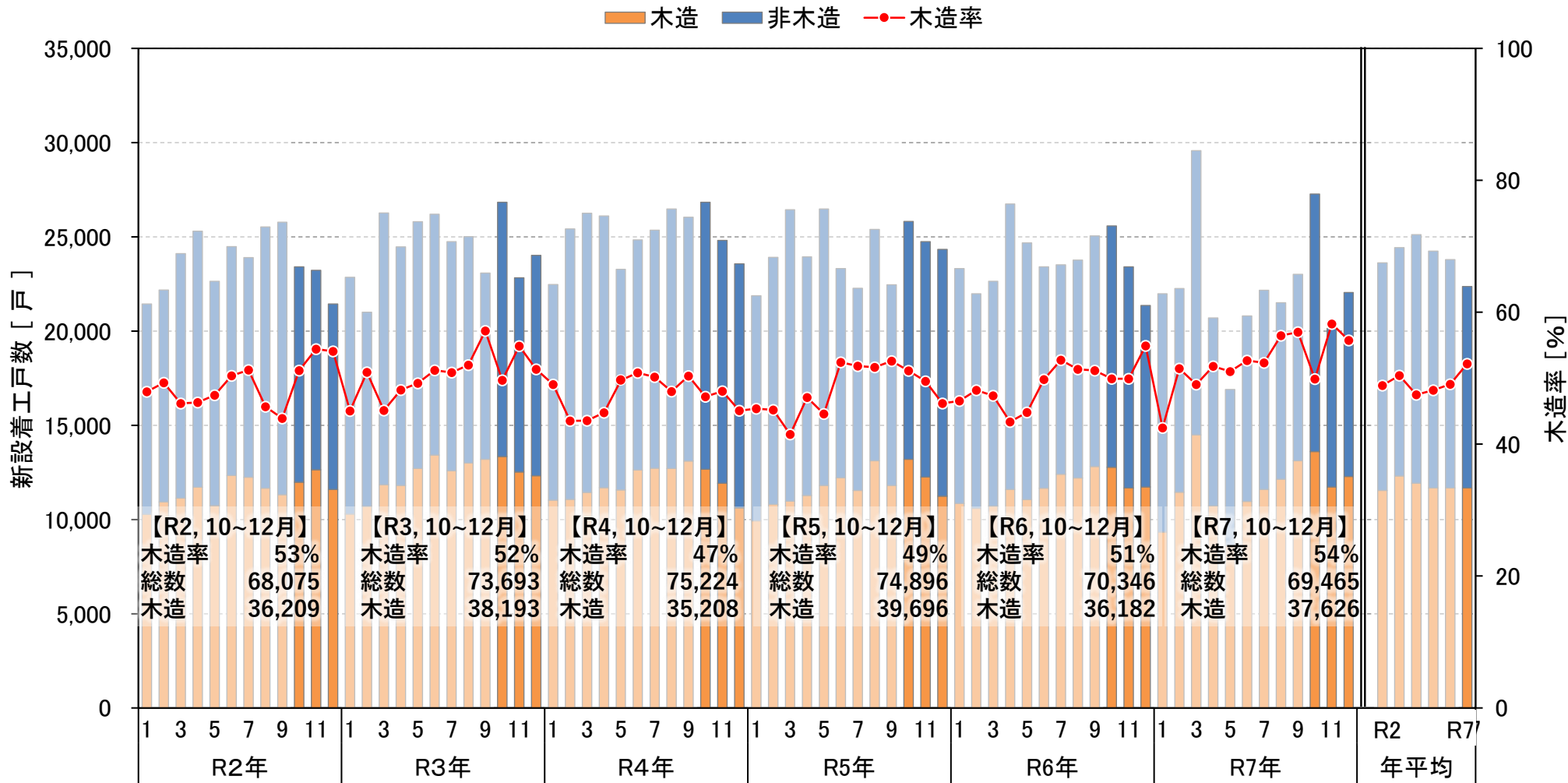
○ 山形県の令和7年10～12月期の新設住宅着工戸数は、昨年同期より15戸減少した。  
この期間の木造は29戸増加し、木造率は4%増加であった。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

# ■ 埼玉、千葉、東京、神奈川の新設住宅着工戸数の推移 (令和2年1月～令和7年12月)

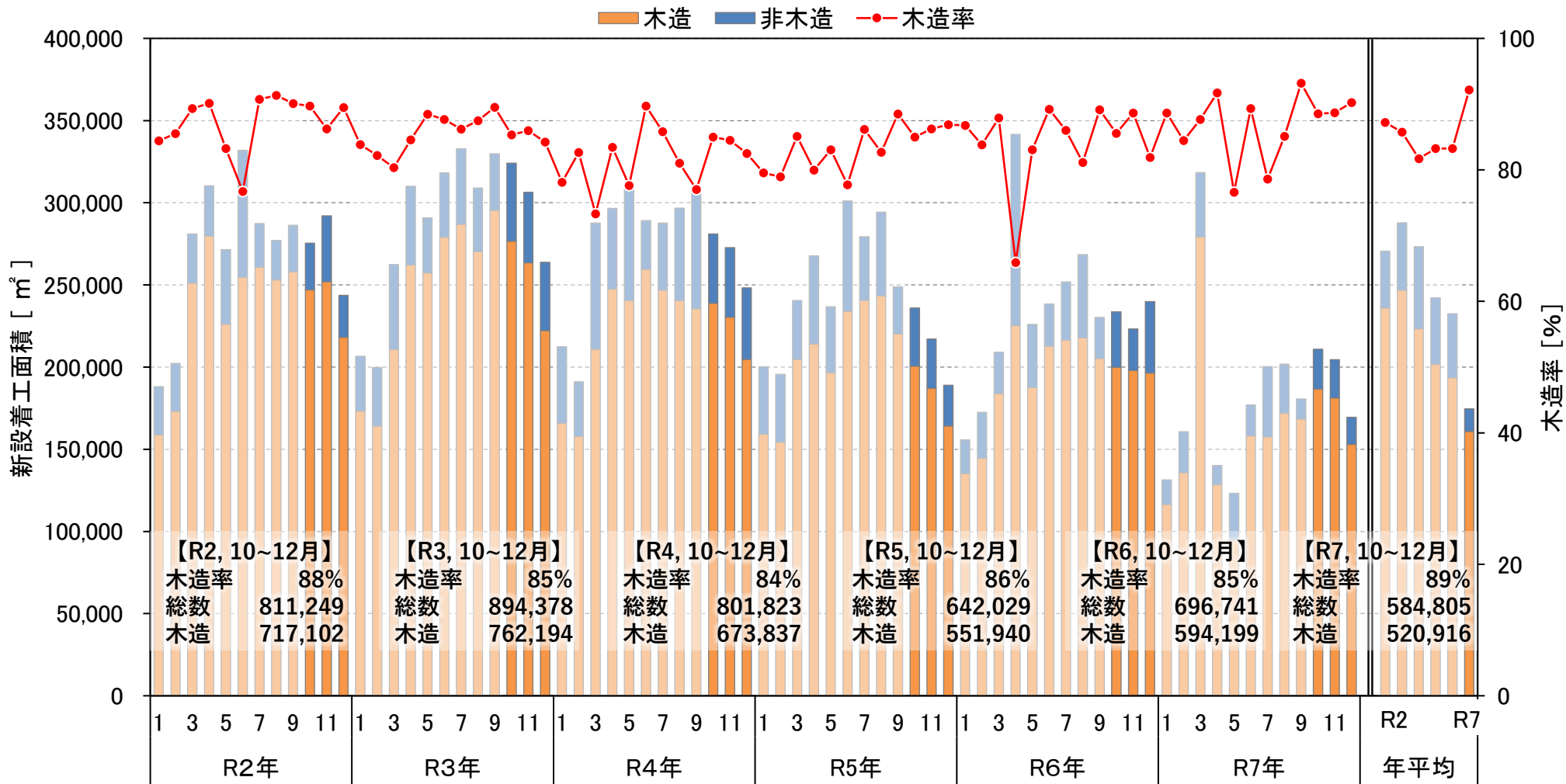
○ 関東主要都市の令和7年10～12月期の新設住宅着工戸数は、昨年同期より881戸減少した。  
 この期間の木造は1,444戸増加し、木造率は3%増加であった。  
 ○ 令和7年の新設住宅着工戸数は、268,360戸で昨年より6%減少した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

# ■ 東北森林管理局管内5県の新設住宅着工面積の推移 (令和2年1月～令和7年12月)

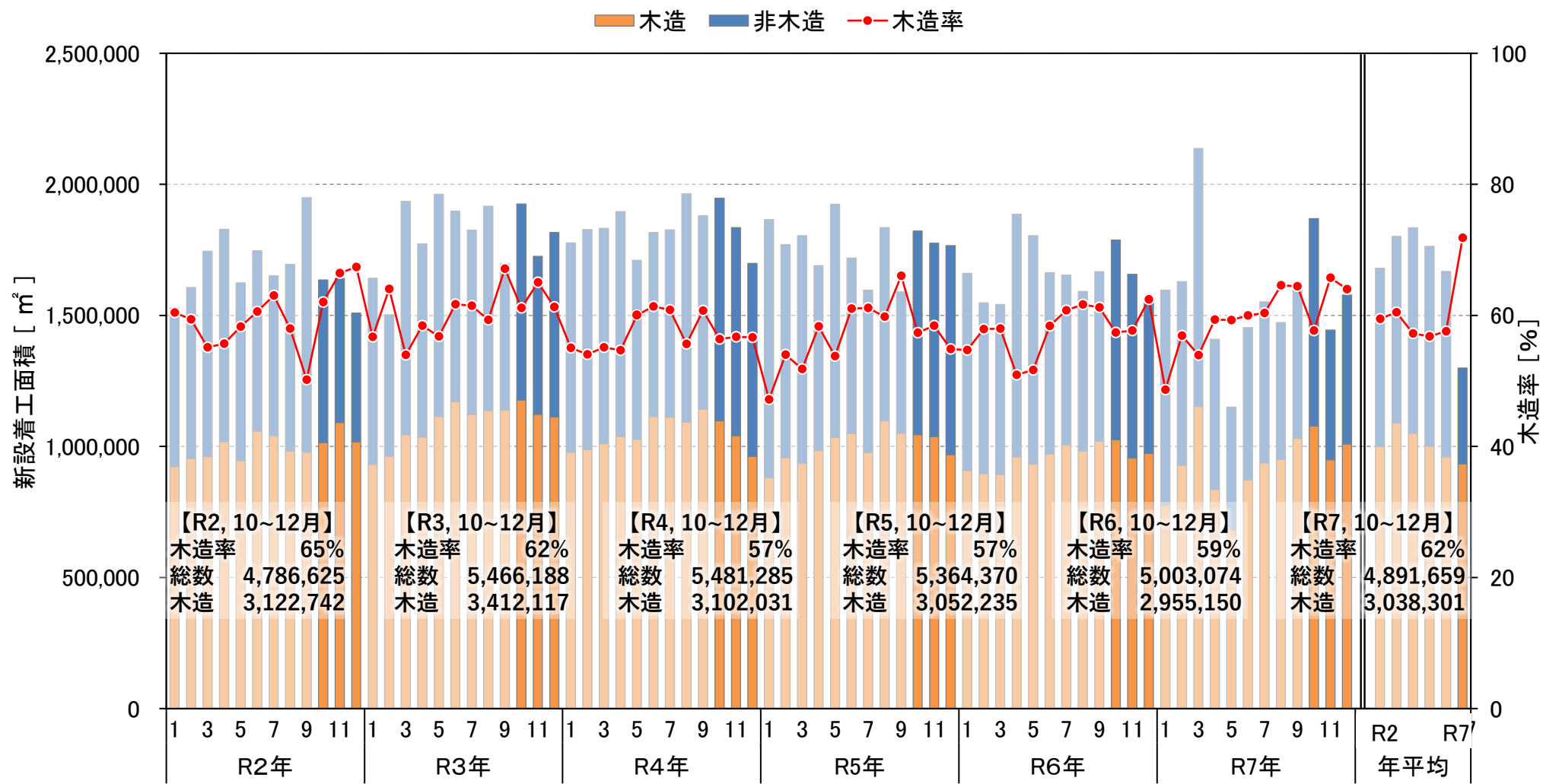
○ 東北5県の令和7年10～12月期の新設住宅着工面積は、昨年同期より111,936m<sup>2</sup>(16.1%)減少した。この期間の木造は昨年同期より73,283m<sup>2</sup>減少し、木造率は4%増加であった。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

# ■ 埼玉、千葉、東京、神奈川の新設住宅着工面積の推移 (令和2年1月～令和7年12月)

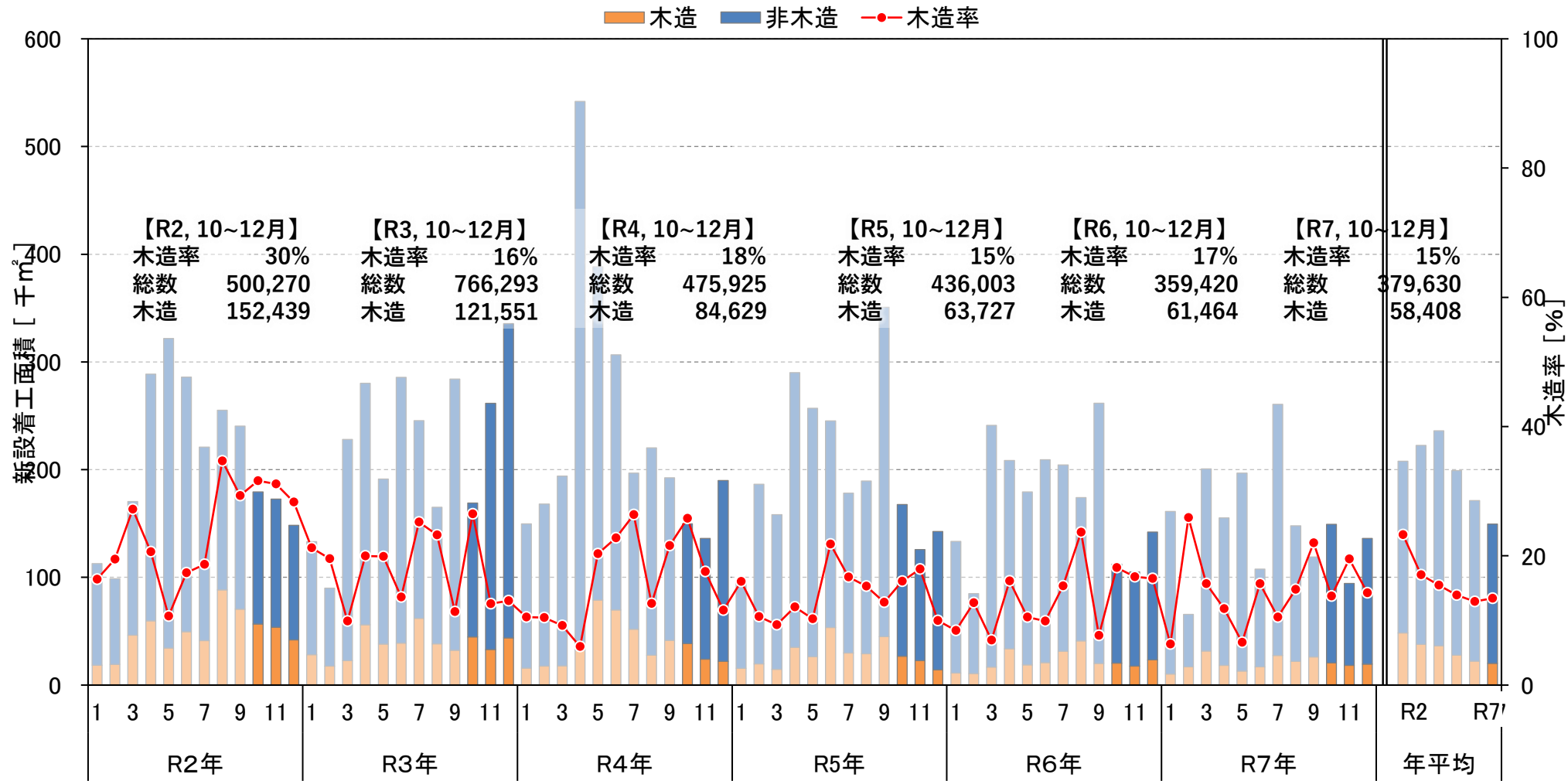
○ 関東主要都市の令和7年10～12月期の新設住宅着工面積は、昨年同期より111,415m<sup>2</sup>(2.2%)減少した。この期間の木造は83,151m<sup>2</sup>減少し、木造率は3%増加であった。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

# ■ 東北森林管理局管内5県の新設産業用建築物着工面積の推移 (令和2年1月～令和7年12月)

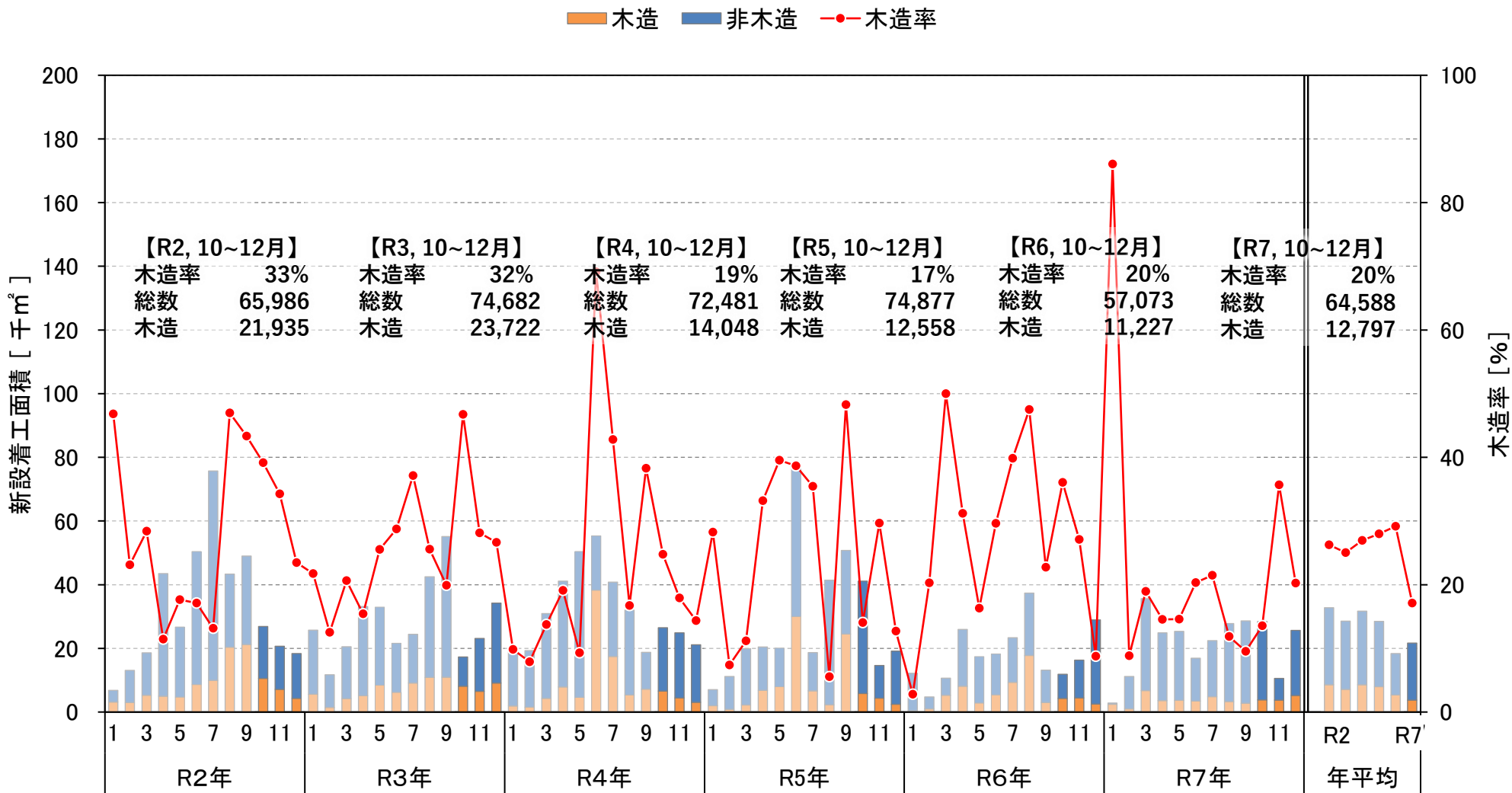
○ 東北5県の令和7年10～12月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より20,210㎡増加した。  
この期間の木造は昨年同期より3,056㎡減少し、木造率は2%減少であった。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

# ■ 青森県の新設産業用建築物着工面積の推移 (令和2年1月～令和7年12月)

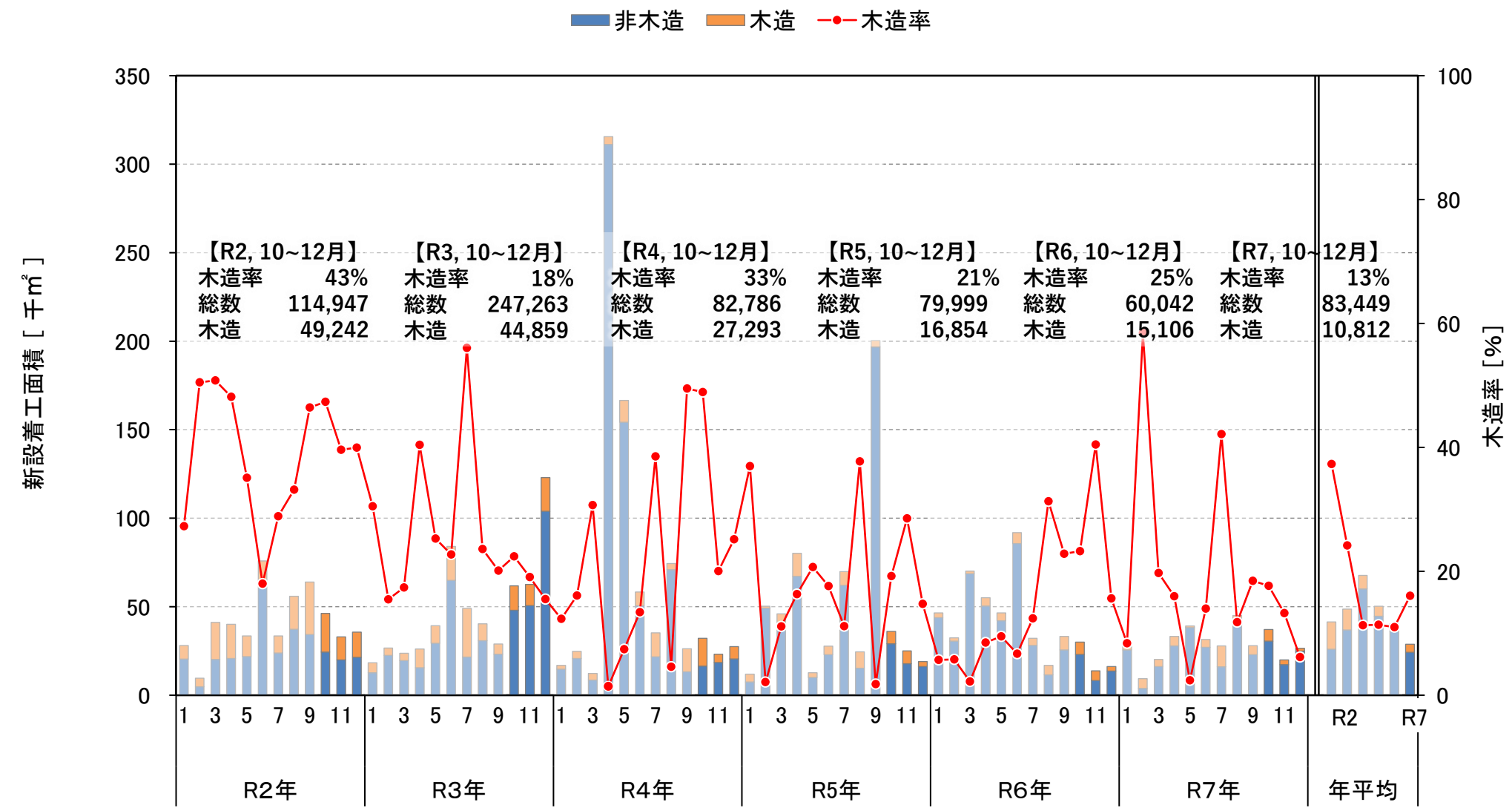
○ 青森県の令和7年10～12月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より7,515㎡増加した。この期間の木造は1,575㎡増加し、木造率は±0%であった。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

# ■ 岩手県の新設産業用建築物着工面積の推移 (令和2年1月～令和7年12月)

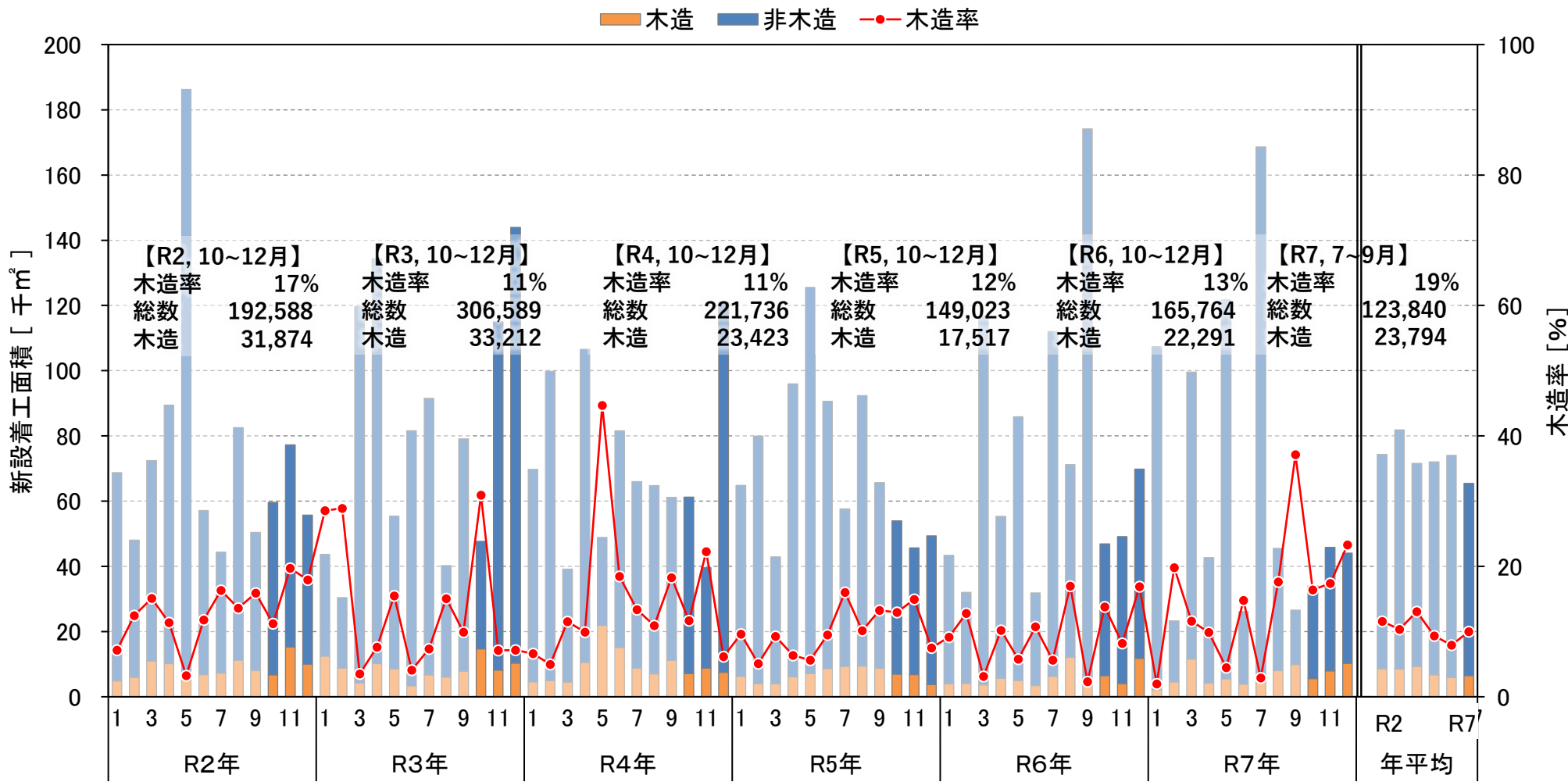
○ 岩手県の令和7年10～12月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より23,407㎡増加した。この期間の木造は4,297㎡減少し、木造率は12%減少であった。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

# ■ 宮城県の新設産業用建築物着工面積の推移 (令和2年1月～令和7年12月)

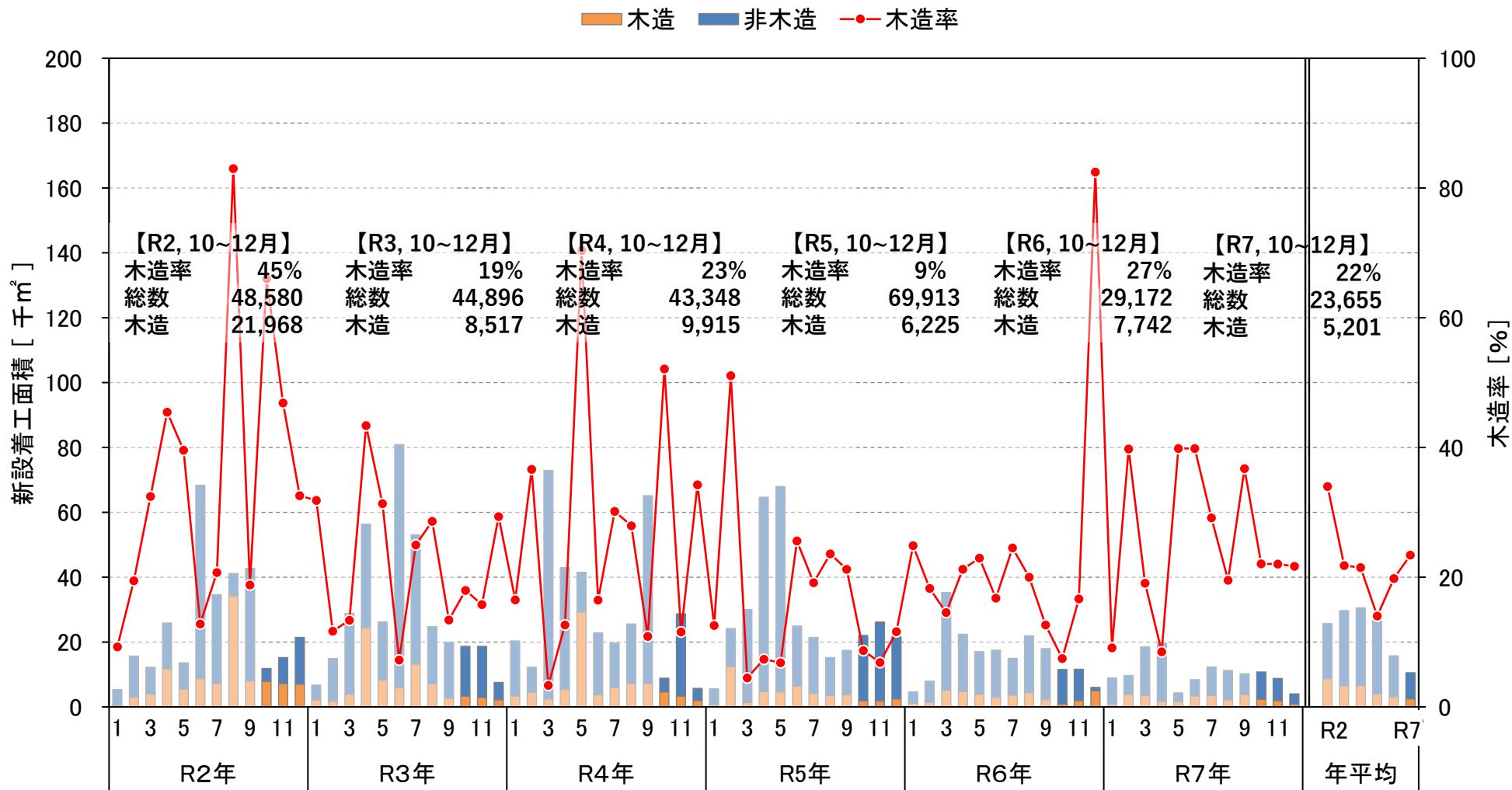
○ 宮城県の令和7年10～12月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より41,924㎡減少した。この期間の木造は1,503㎡増加し、木造率は6%増加であった。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

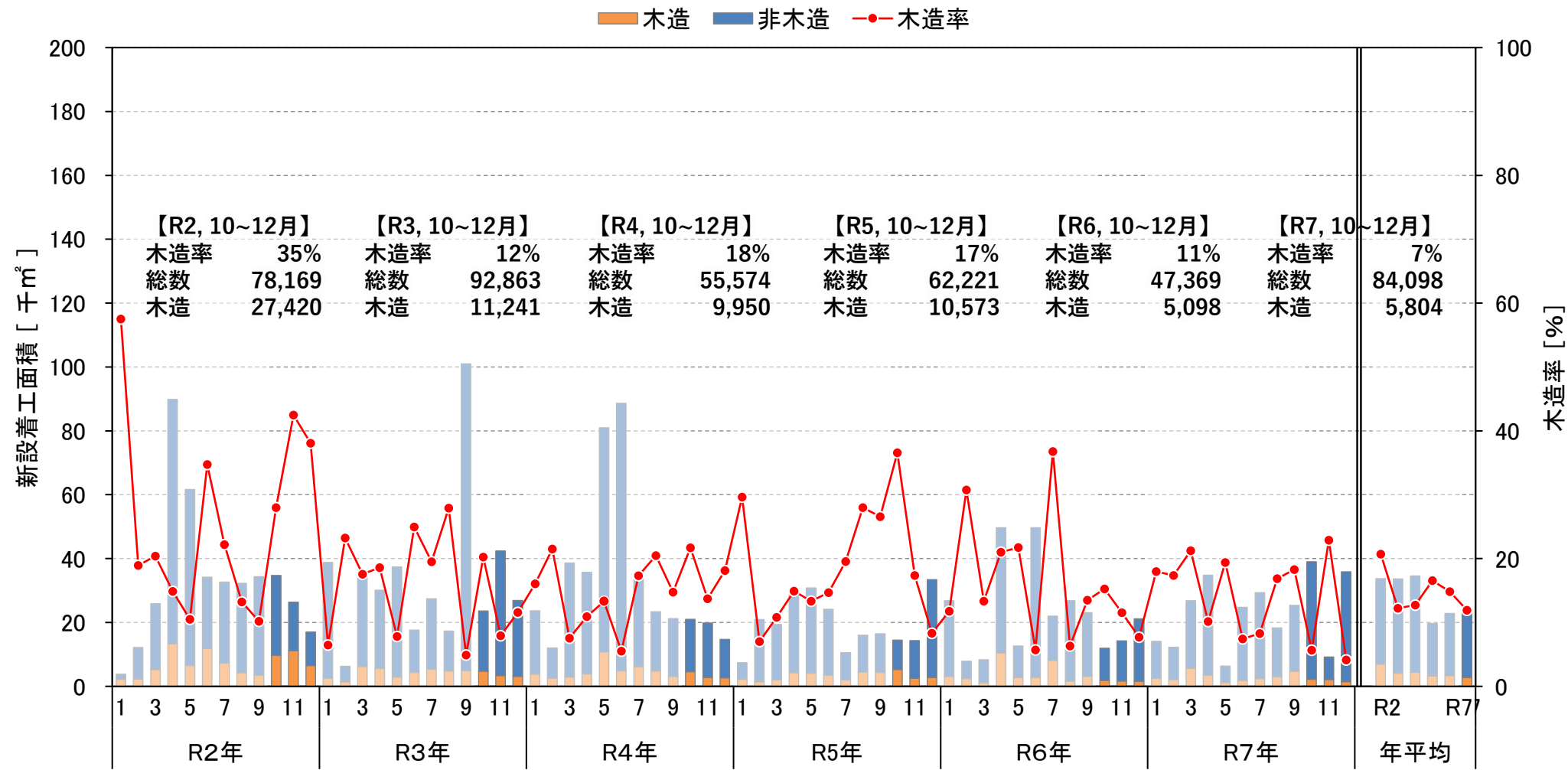
# ■ 秋田県の新設産業用建築物着工面積の推移 (令和2年1月～令和7年12月)

○ 秋田県の令和7年10～12月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より5,517㎡減少した。この期間の木造は2,541㎡減少し、木造率は5%減少であった。



# 山形県の新設産業用建築物着工面積の推移 (令和2年1月～令和7年12月)

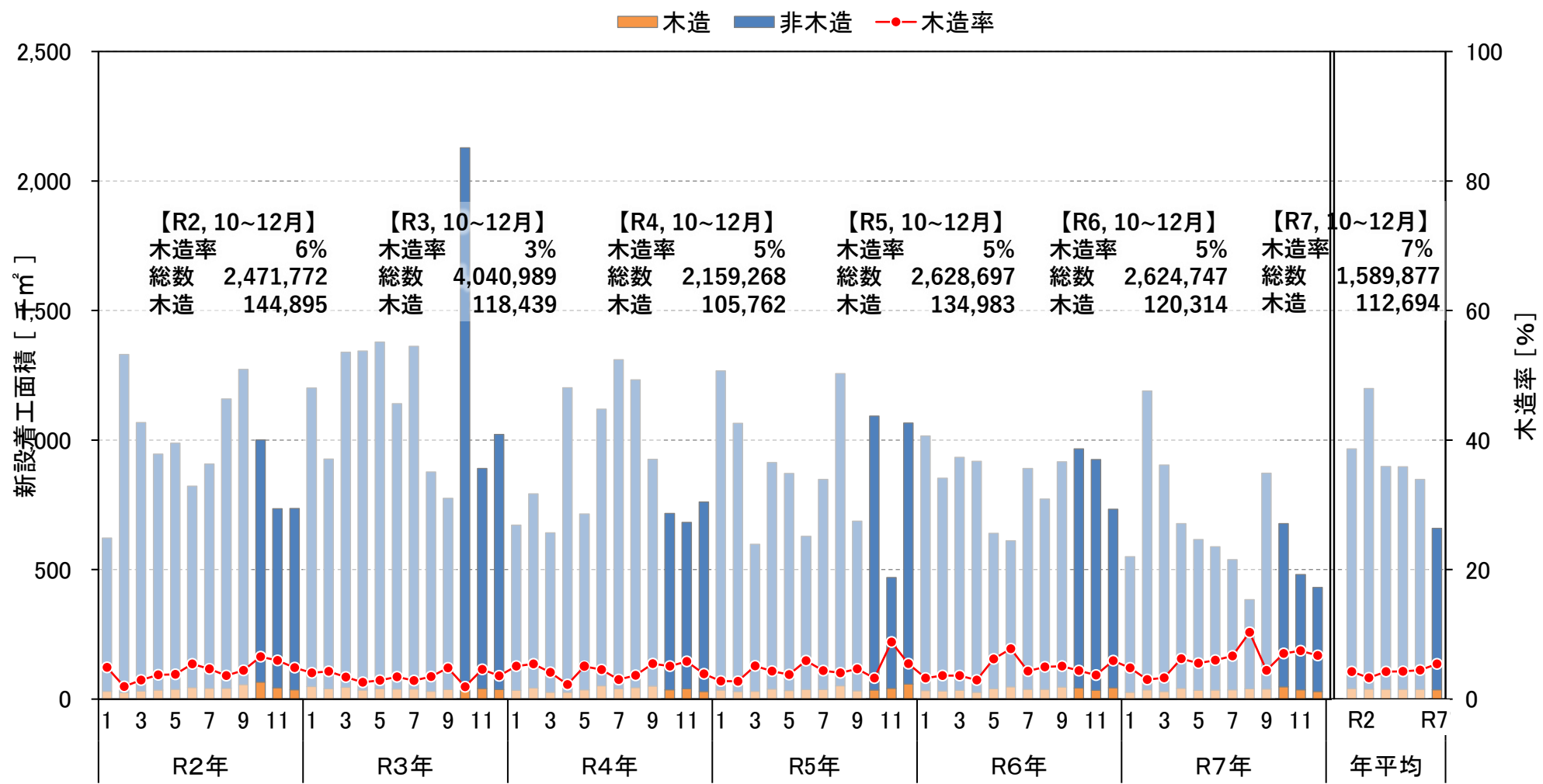
○ 山形県の令和7年10～12月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より36,729㎡増加した。この期間の木造は706㎡増加し、木造率は4%減少であった。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

# ■ 埼玉、千葉、東京、神奈川の新設産業用建築物着工面積の推移 (令和2年1月～令和7年12月)

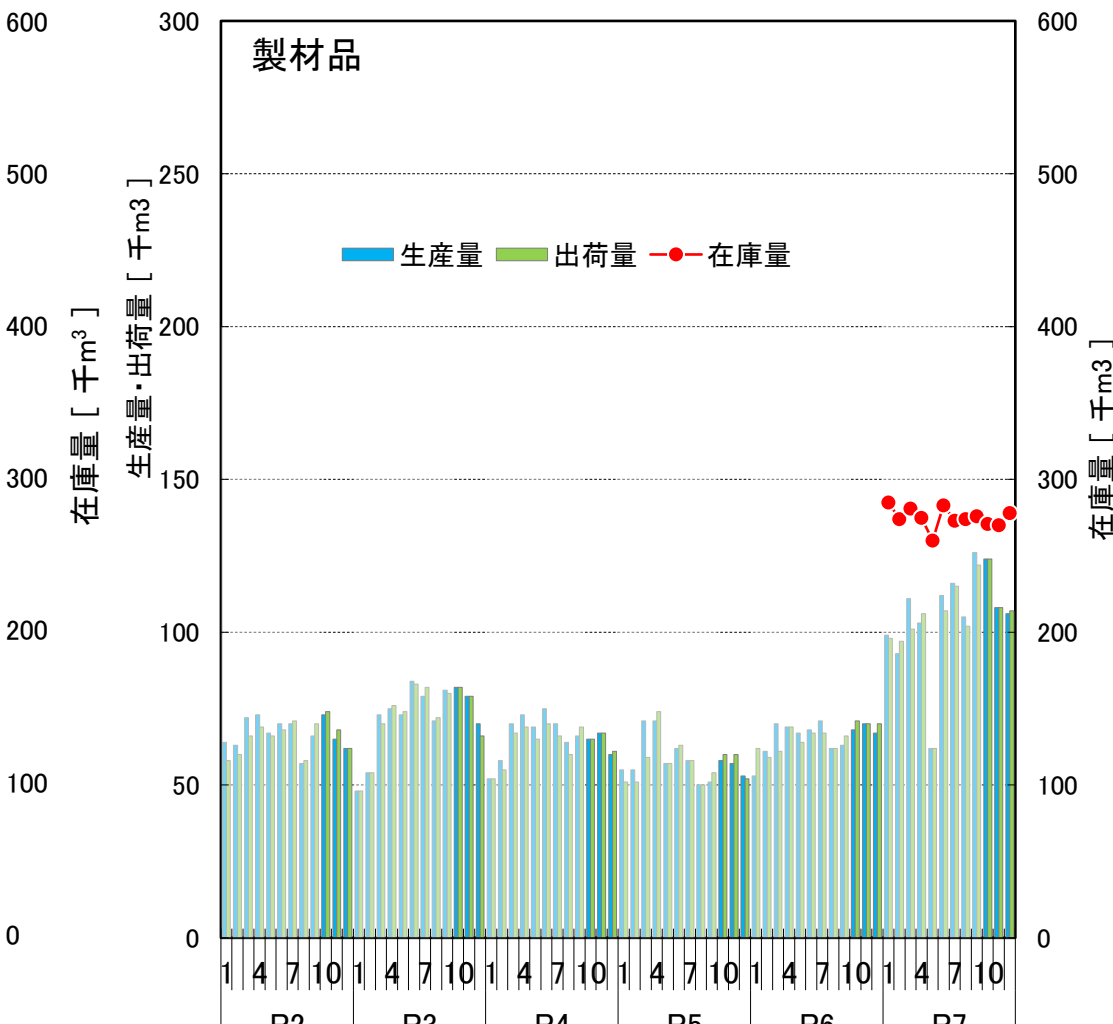
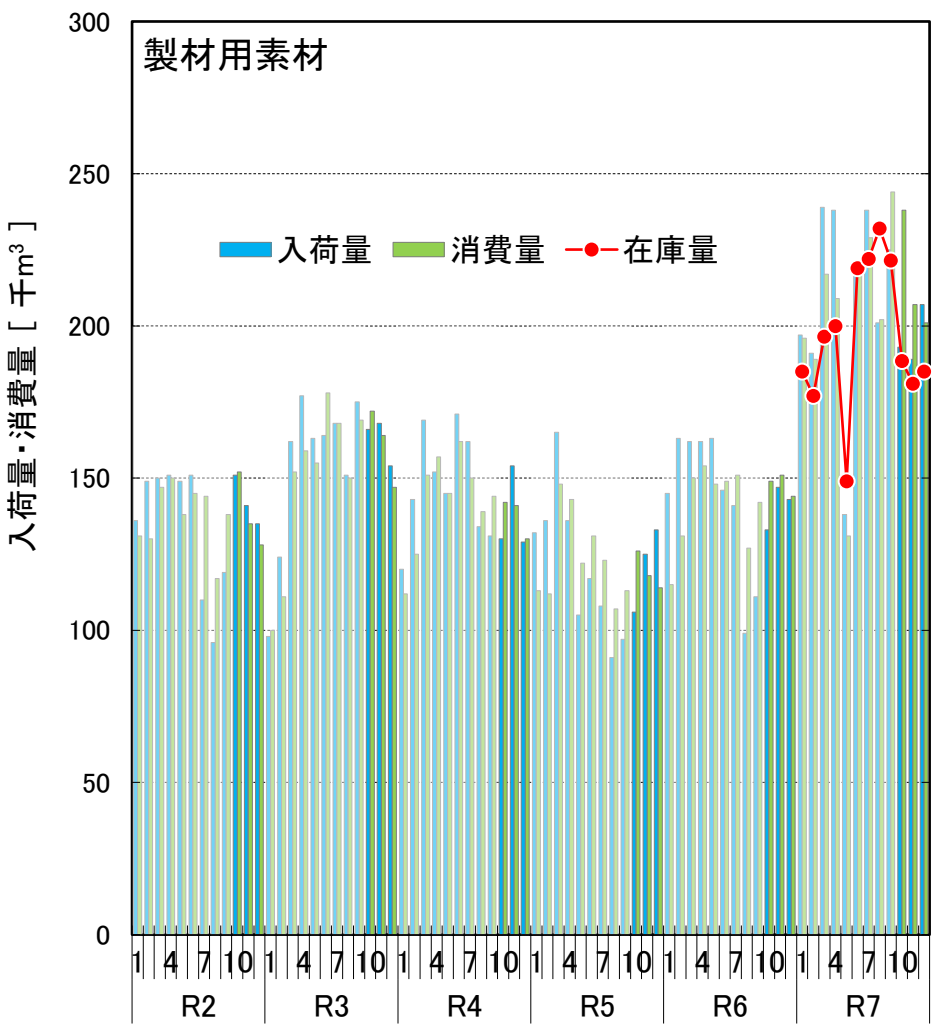
○ 関東主要都市の令和7年10～12月期の新設住宅着工数は、昨年同期より1,034,870㎡減少した。  
この期間の木造は7,620㎡減少し、木造率は3%増加であった。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

# ■ 東北5県の製材用素材・製材品の生産量等の推移（令和2年1月～令和7年12月）

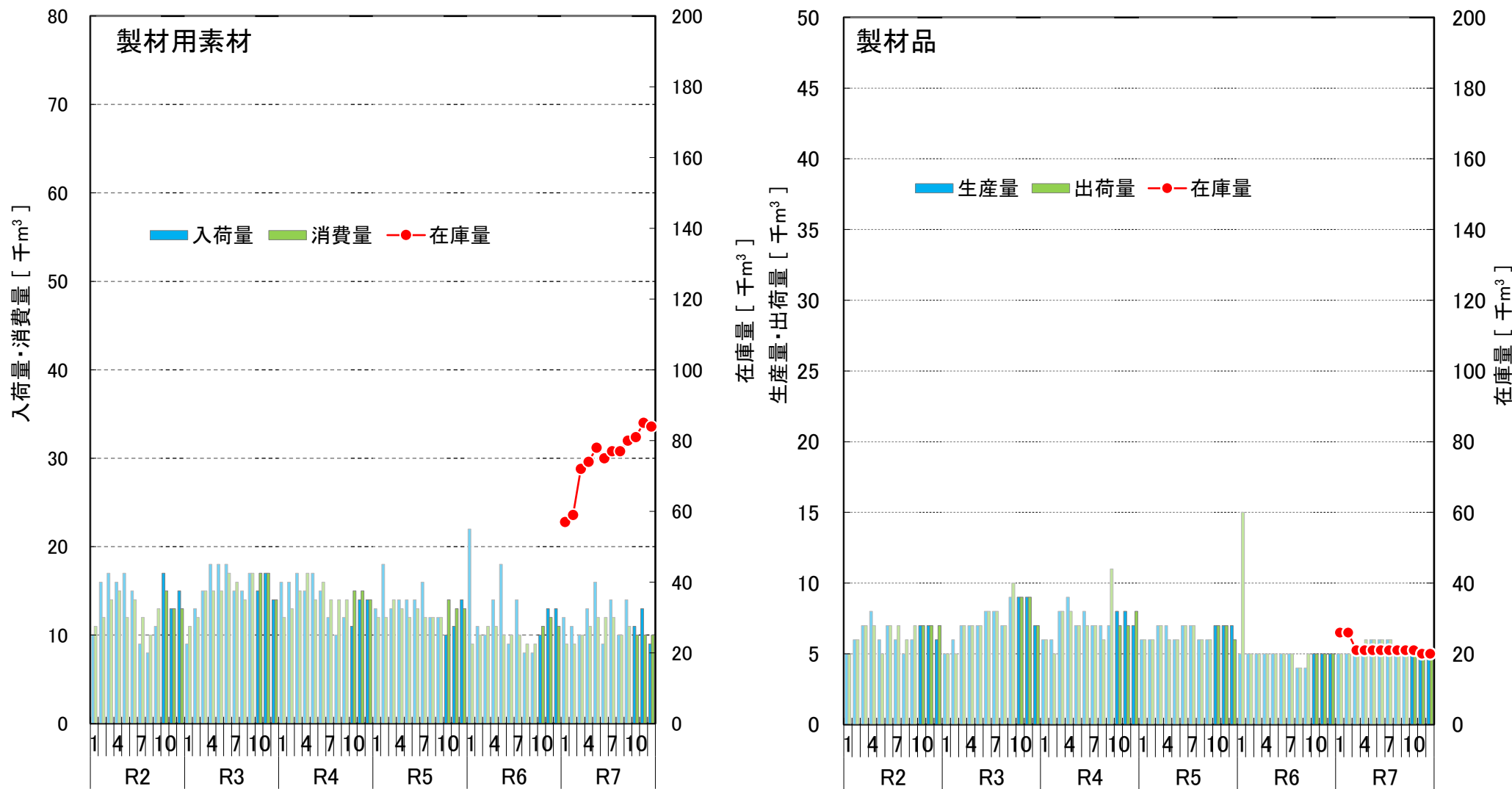
○ 東北5県の製材用素材の令和7年10～12月の入荷量は昨年同期比+39%、消費量は+45%  
 ○ 製材品の令和7年10～12月の生産量は昨年同期比+65%、出荷量は+61%。



出典：農林水産省「木材需給報告書」「製材統計」 ※ 在庫量に関してR7より算定方法が変更されたため、R6までの在庫量は不記載。※ 国産材と外材の合計値である。17

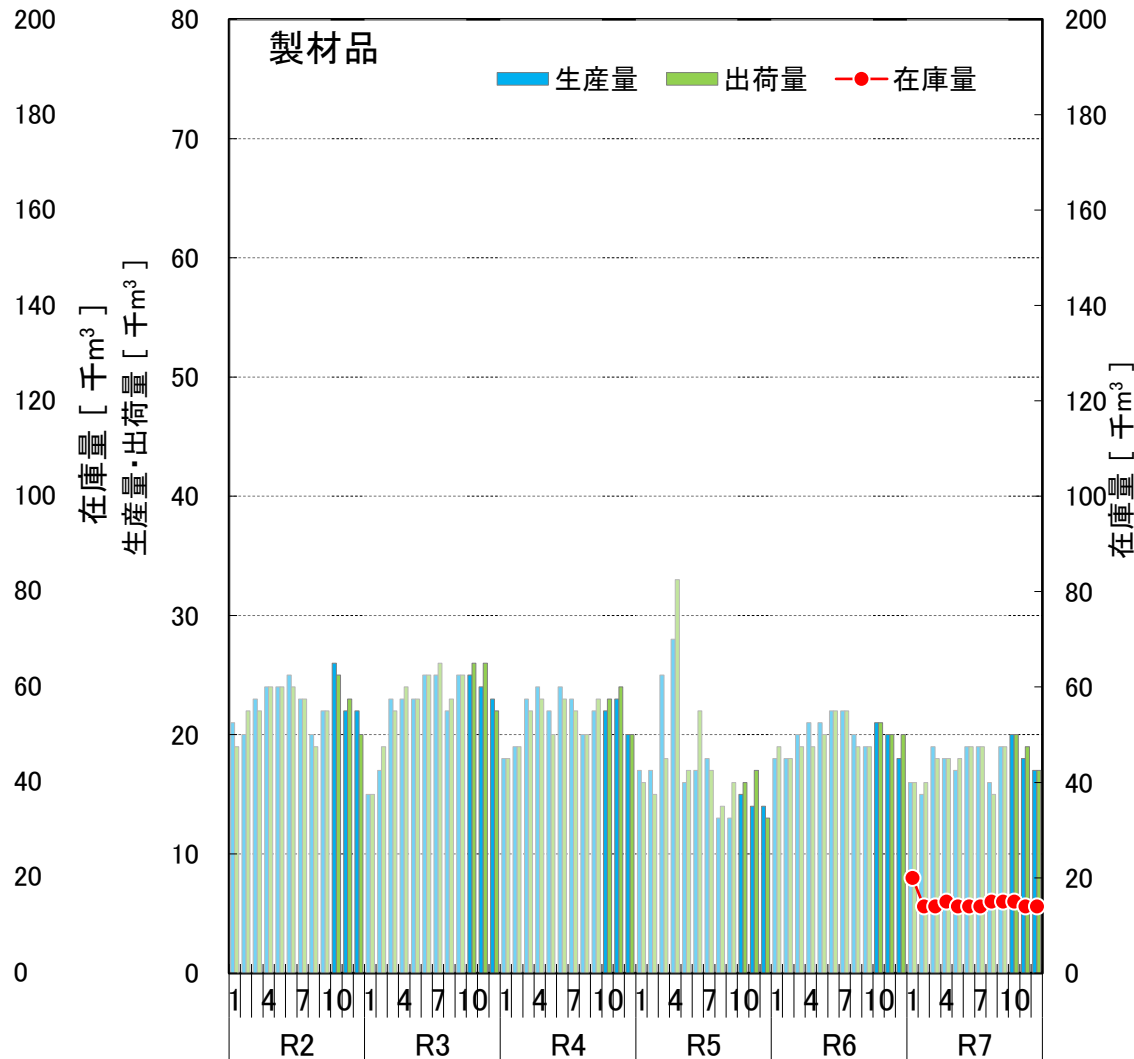
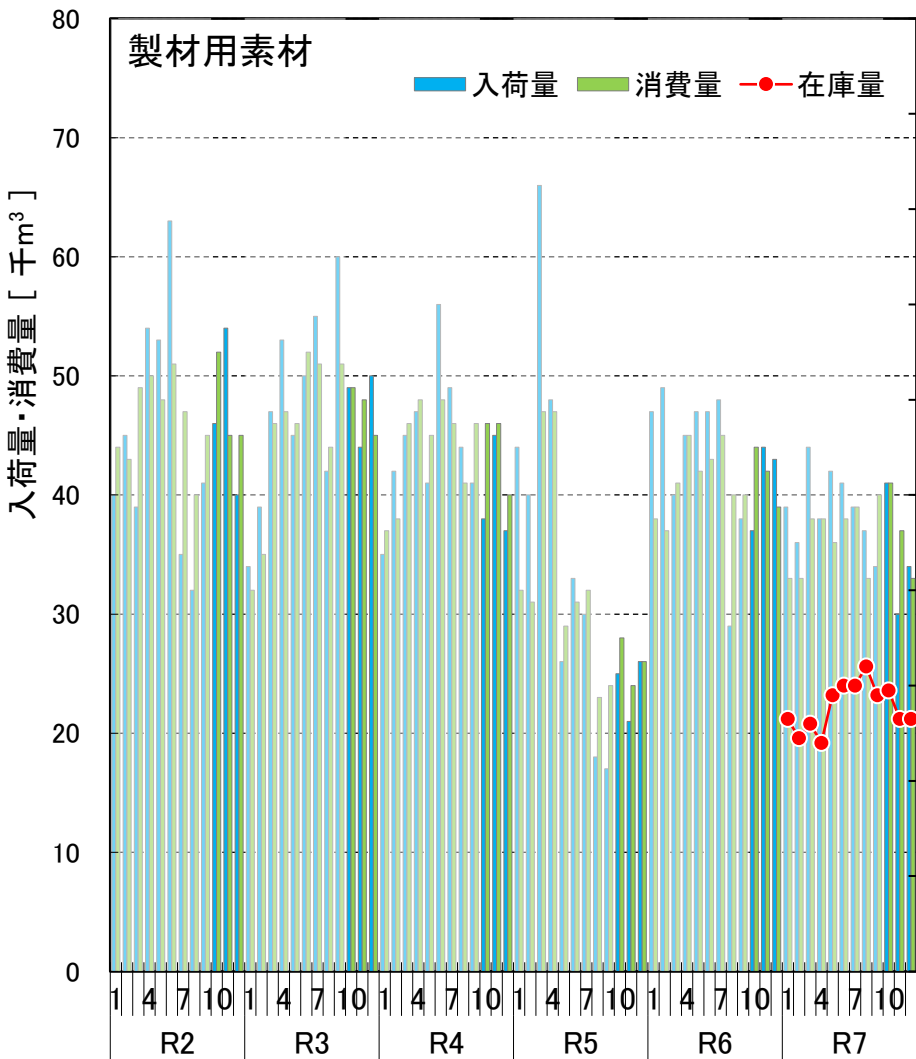
# ■ 青森県の製材用素材・製材品の生産量等の推移（令和2年1月～令和7年12月）

- 製材用素材の令和7年10～12月の入荷量は昨年同期比-8%、消費量は-12%。
- 製材品の令和7年10～12月の生産量は昨年同期比±0%、出荷量は±0%。



# ■ 岩手県の製材用素材・製材品の生産量等の推移（令和2年1月～令和7年12月）

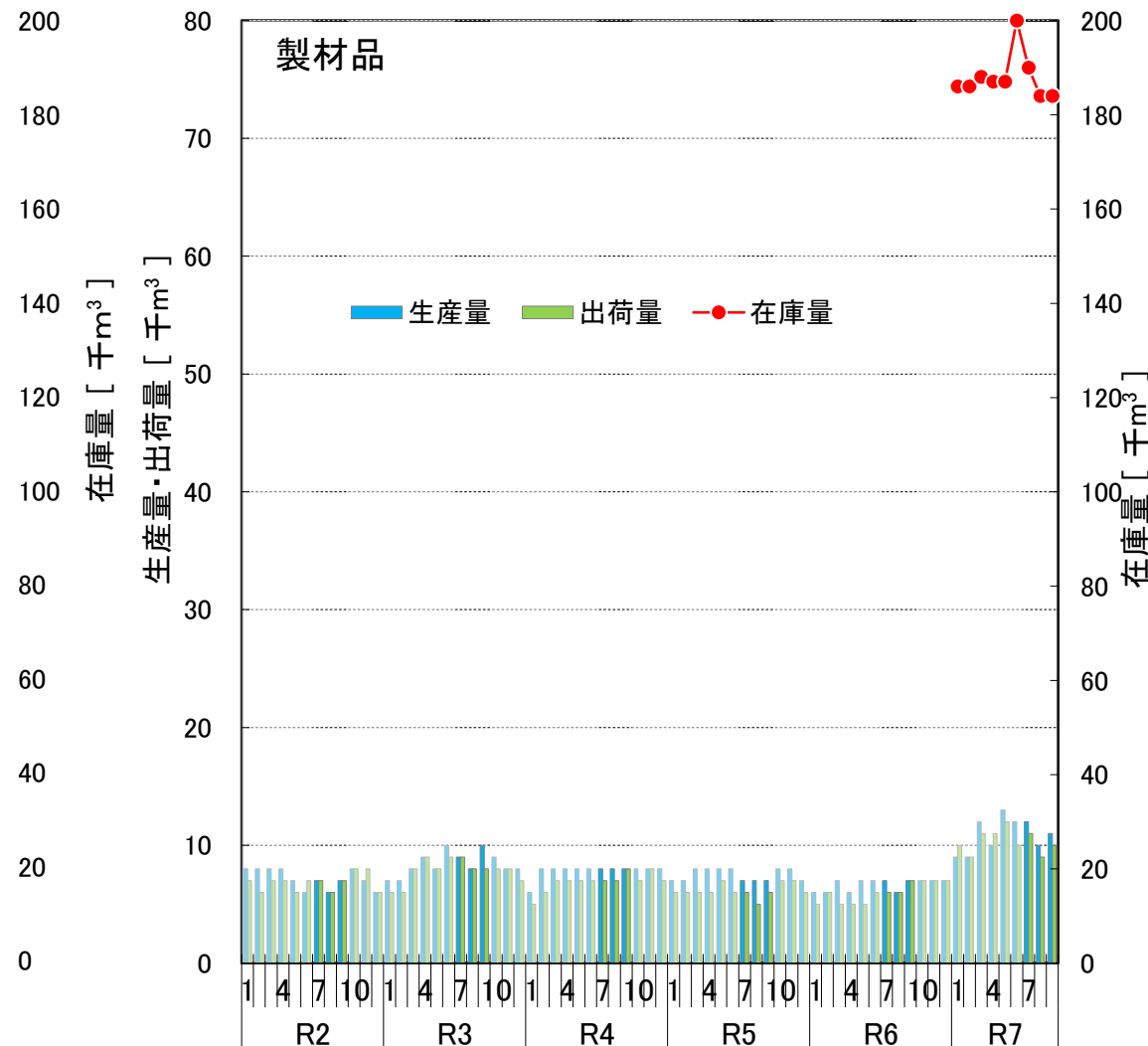
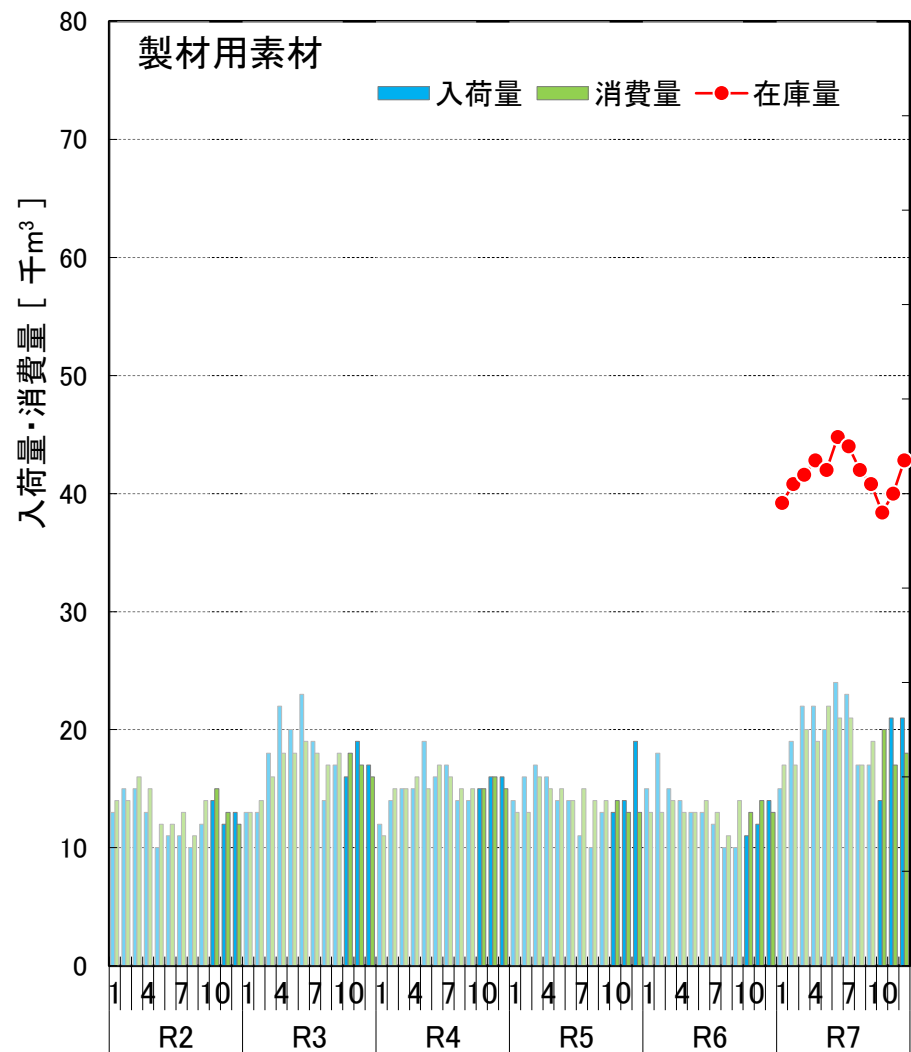
○ 製材用素材の令和7年10～12月の入荷量は昨年同期比－15%、消費量は－11%。  
 ○ 製材品の令和7年10～12月の生産量は昨年同期比－7%、出荷量は－8%。



出典：農林水産省「木材需給報告書」「製材統計」 ※ 在庫量に関してR7より算定方法が変更されたため、R6までの在庫量は不記載。 ※ 国産材と外材の合計値である。19

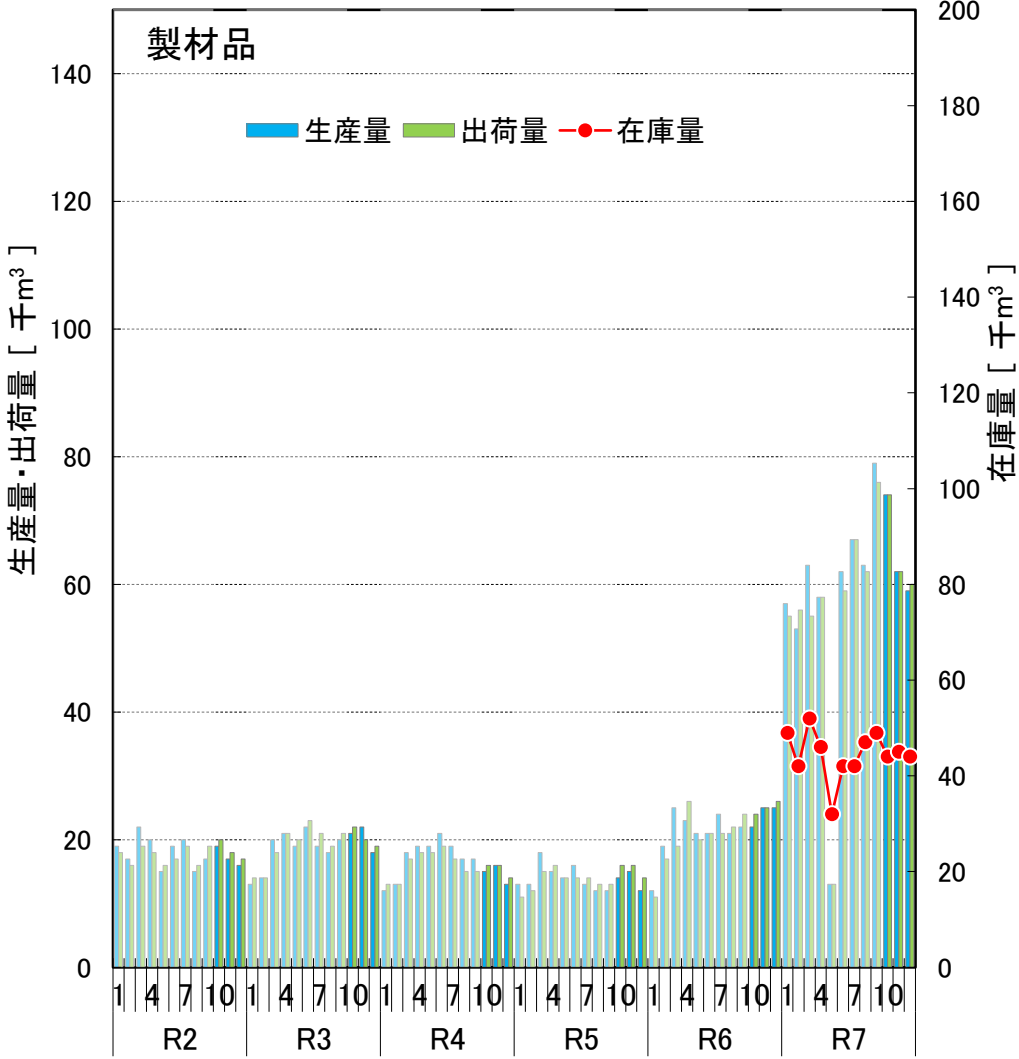
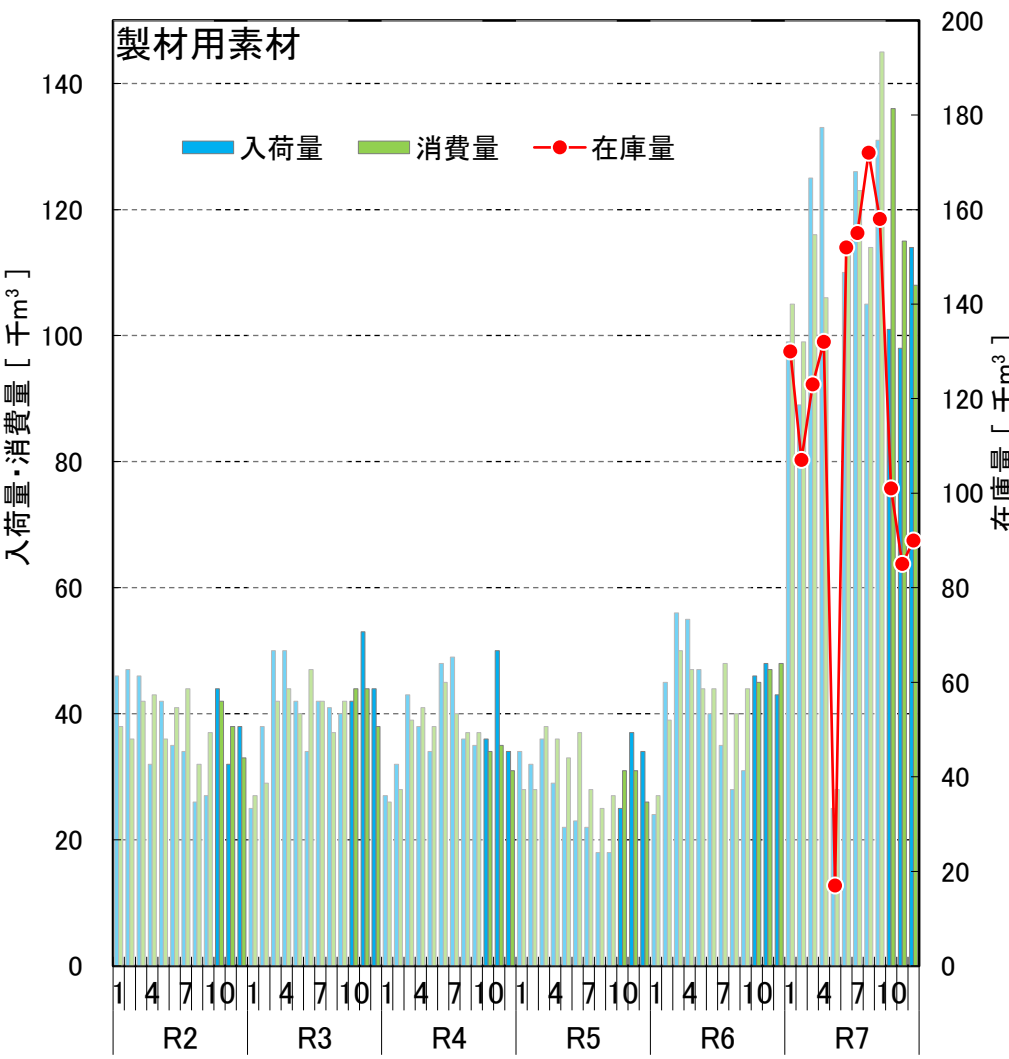
# ■ 宮城県の製材用素材・製材品の生産量等の推移（令和2年1月～令和7年12月）

- 製材用素材の令和7年10～12月の入荷量は昨年同期比+51%、消費量は+38%。
- 製材品の令和7年10～12月の生産量は昨年同期比+62%、出荷量は+57%。



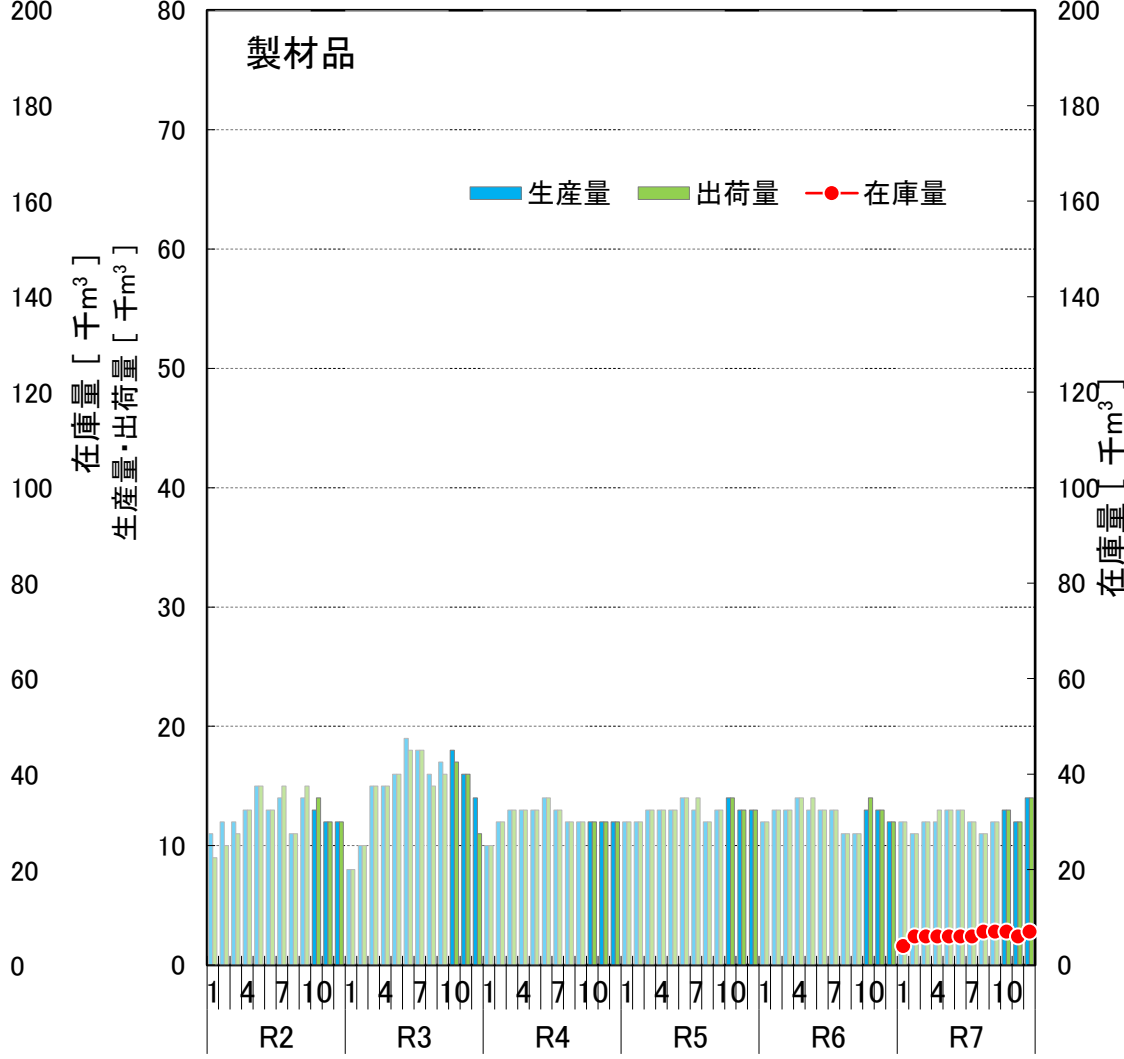
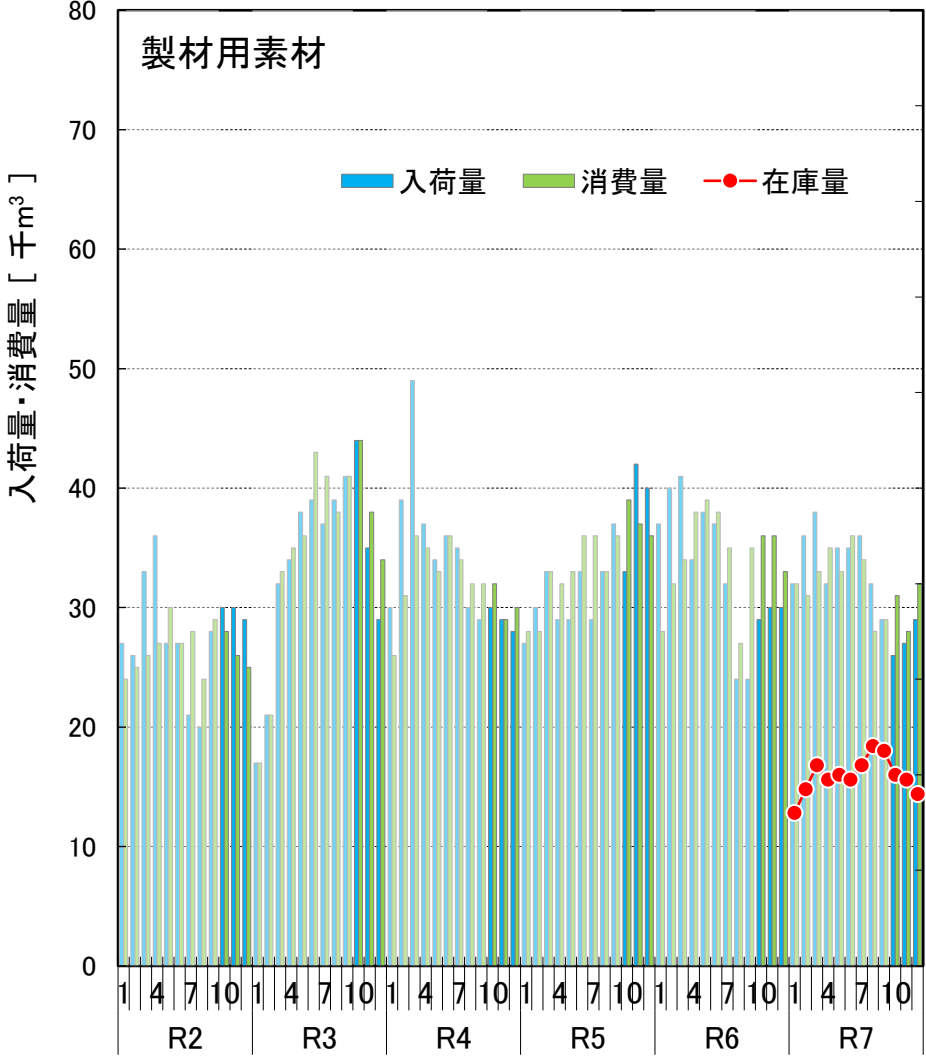
# ■ 秋田県の製材用素材・製材品の生産量等の推移（令和2年1月～令和7年12月）

○ 製材用素材の令和7年10～12月の入荷量は昨年同期比+128%、消費量は+156%。  
 ○ 製材品の令和7年10～12月の生産量は昨年同期比+171%、出荷量は+161%。



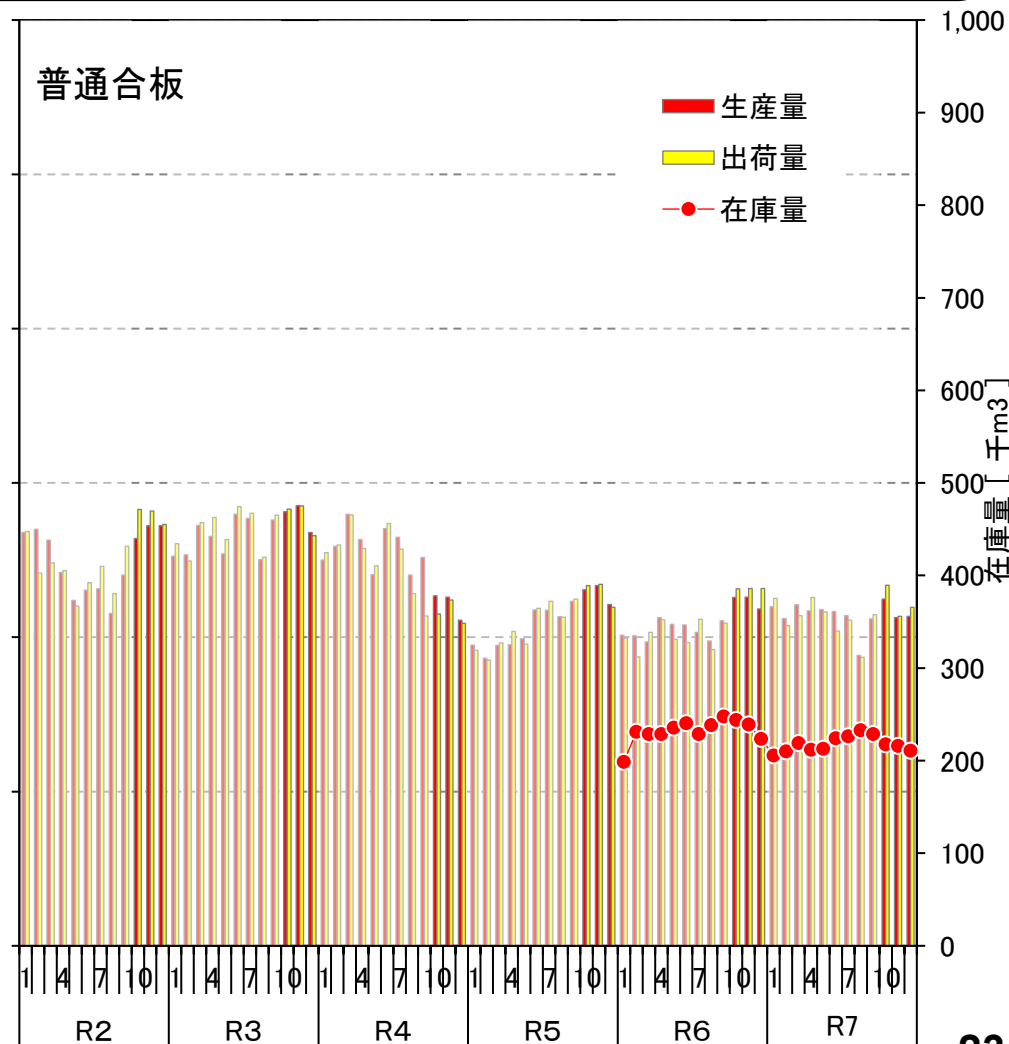
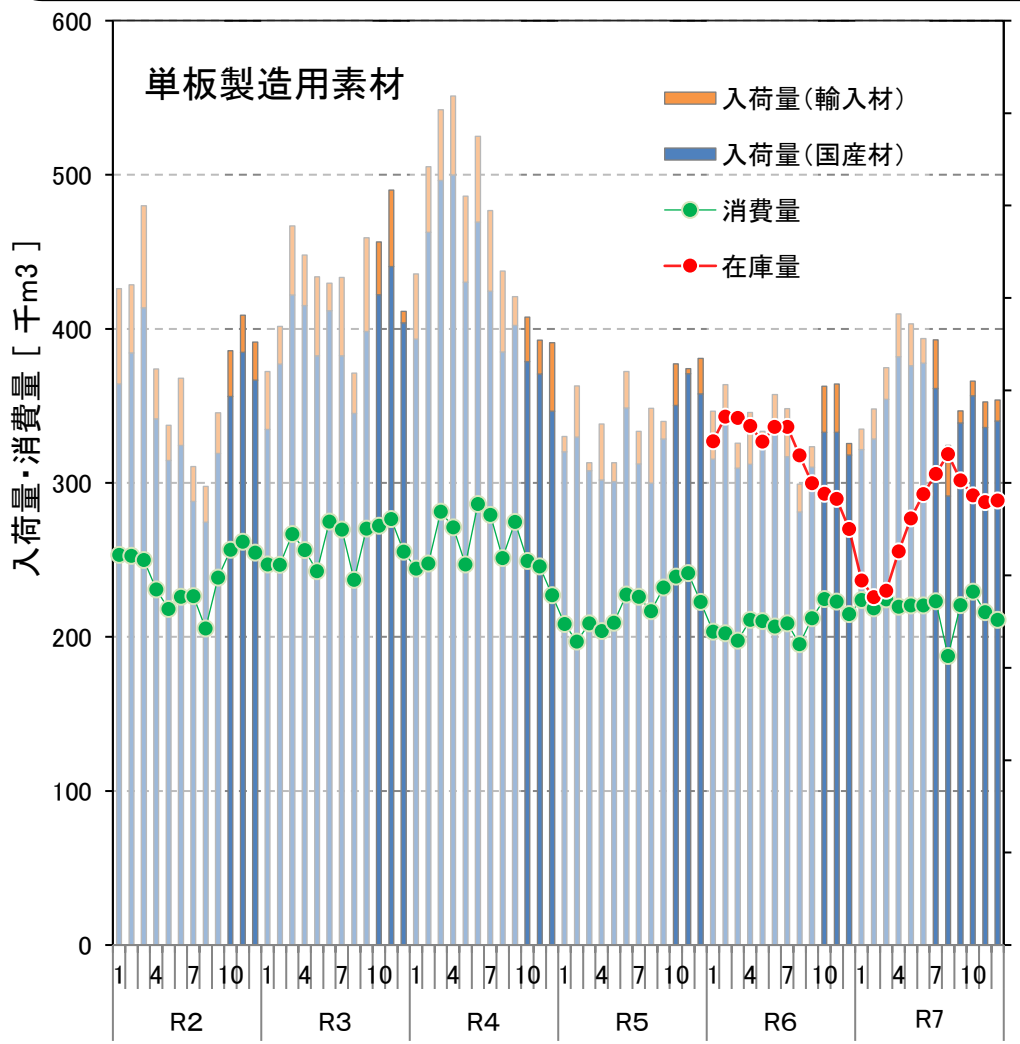
# 山形県の製材用素材・製材品の生産量等の推移（令和2年1月～令和7年12月）

○ 製材用素材の令和7年10～12月の入荷量は昨年同期比－8%、消費量は－13%。  
 ○ 製材品の令和7年10～12月の生産量は昨年同期比＋3%、出荷量は±0%。



# ■ 全国の単板製造用素材・普通合板の生産量等の推移（令和2年1月～令和7年12月）

- 単板製造用素材の令和7年10～12月期の入荷量は昨年同期比+2%、うち国産材は+5%、消費量は-1%、在庫量は12月比+7%。
- 普通合板の令和7年10～12月期の生産量は昨年同期比-3%、出荷量は-4%、在庫量は12月比-6%。

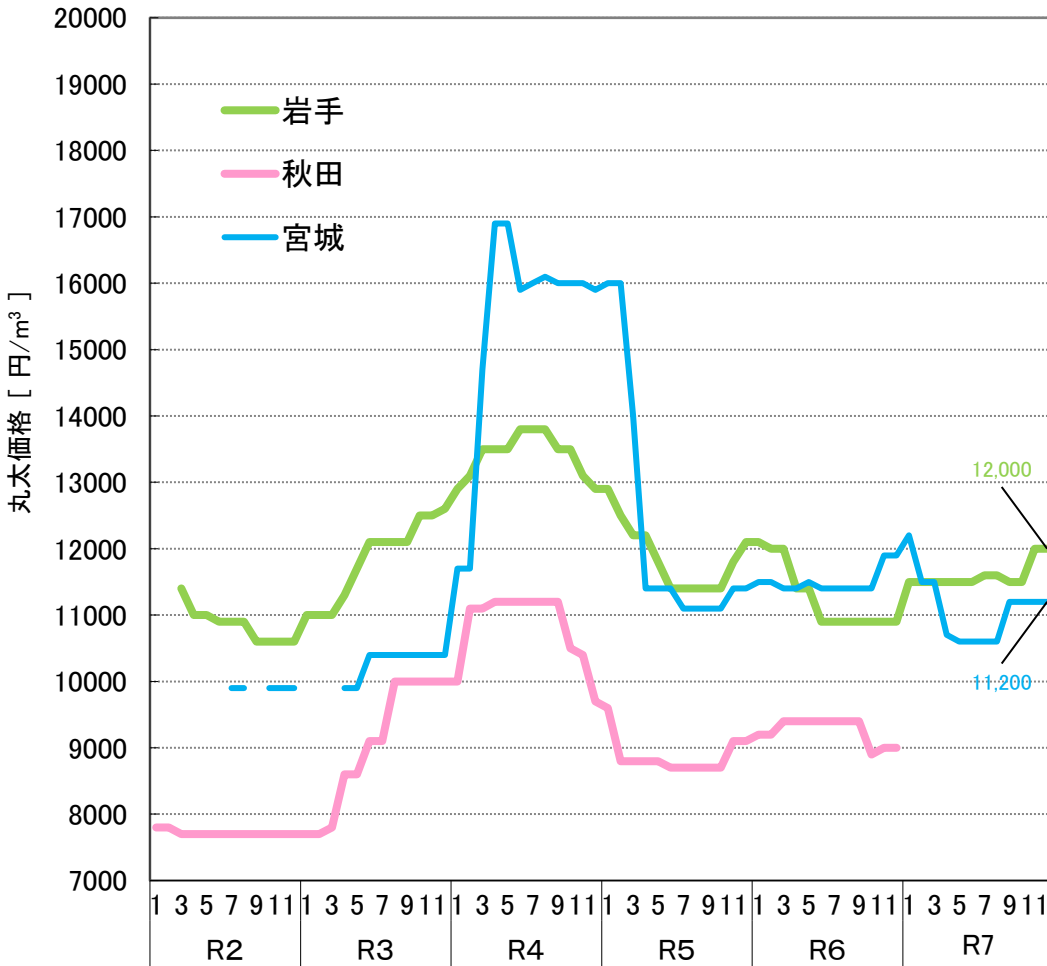


出典：農林水産省「合板統計」

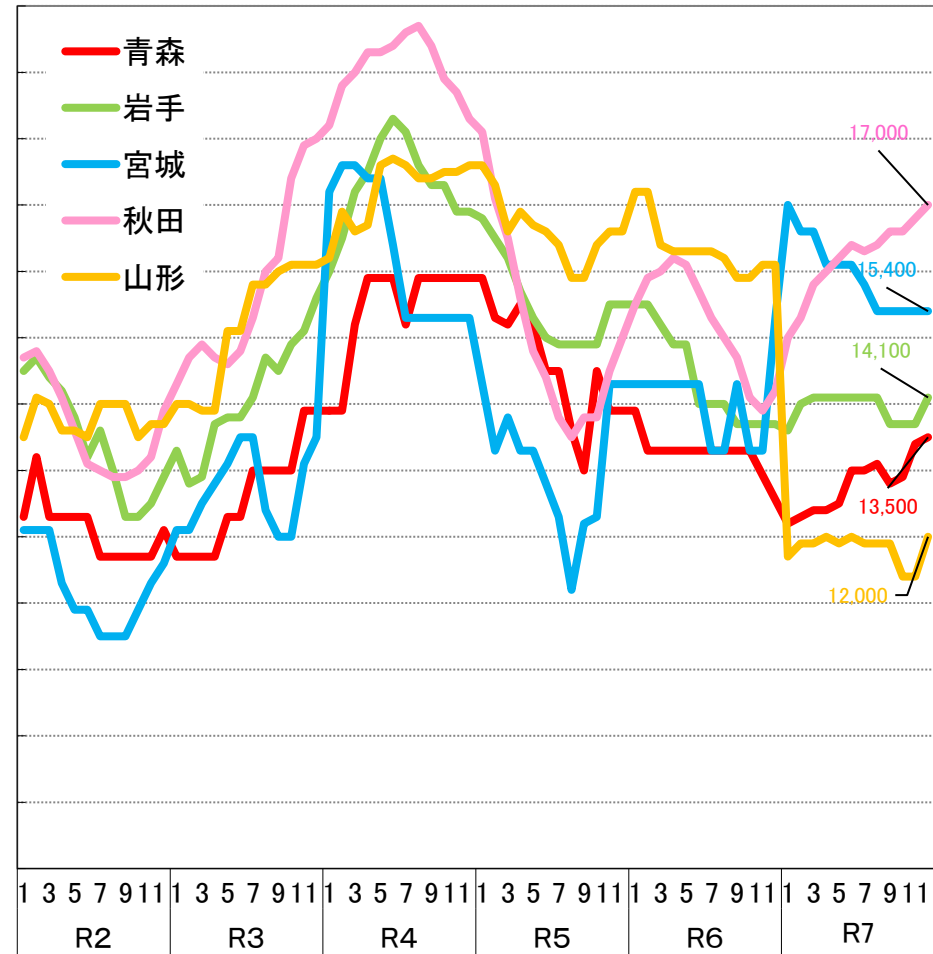
# ■ すぎ丸太価格の推移 (令和2年1月～令和7年12月)

- すぎ小丸太価格は10月以降、宮城・山形で横ばい、岩手は値上げである。秋田県はデータなし。
- すぎ中丸太価格は10月以降、青森・岩手・秋田・山形で値上がり傾向だが、宮城では横ばい。

すぎ小丸太 3.65～4.00m (8～13cm)



すぎ中丸太 3.65～4.00m (24～28cm)



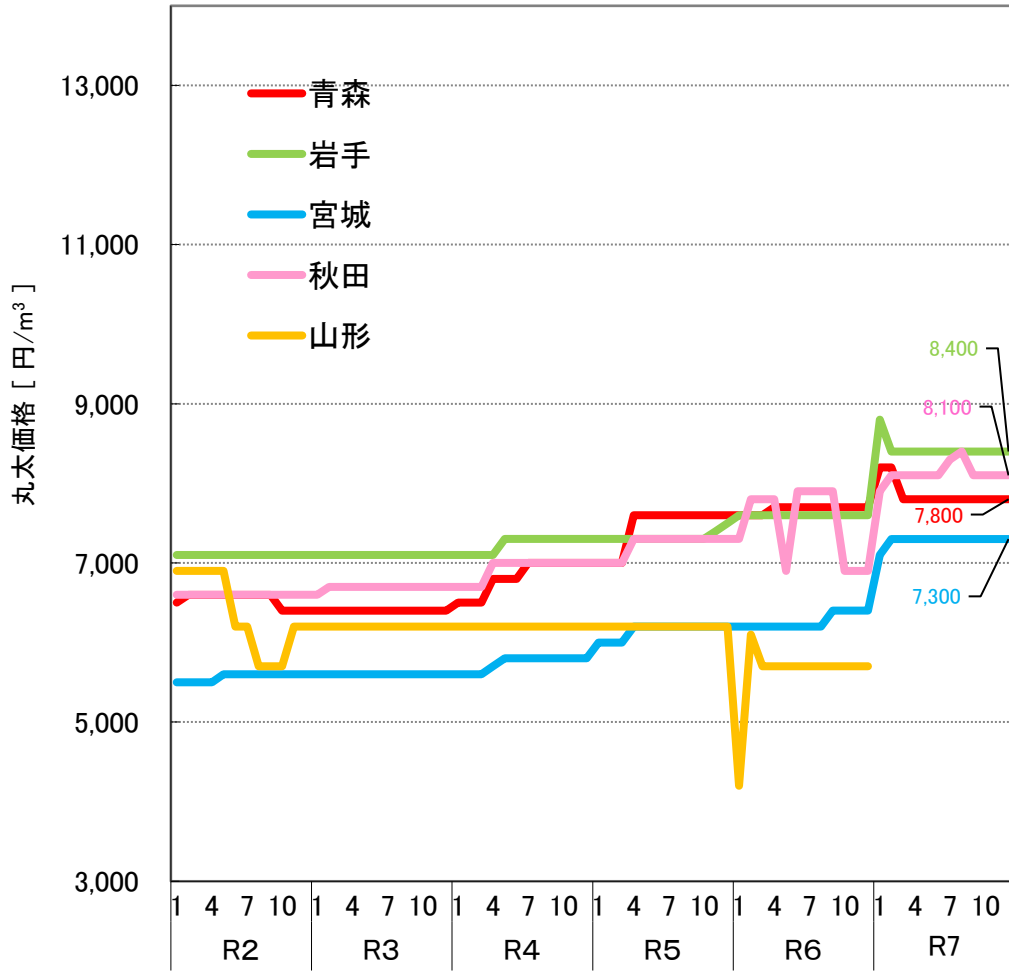
出典：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」 ※ 工場着価格。



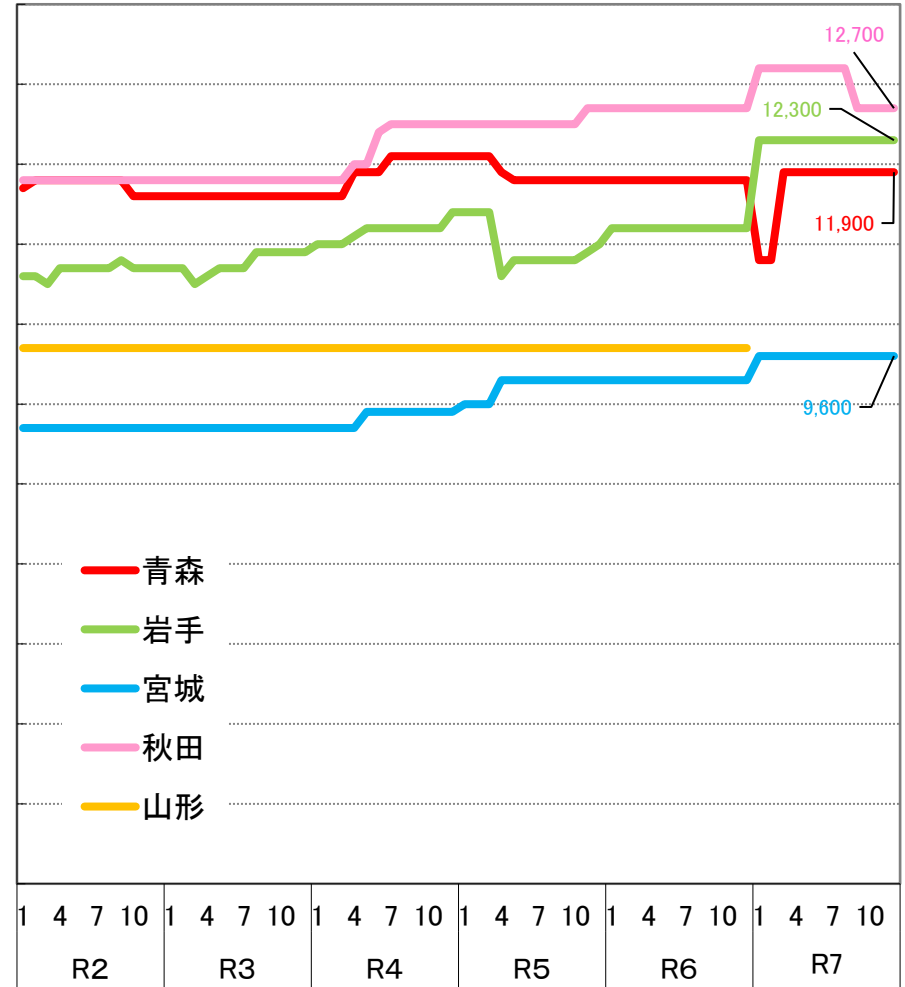
# ■チップ用丸太価格の推移（令和2年1月～令和7年12月）

○チップ用針葉樹は、10月以降横ばい。山形県は年明け以降、データなし。  
 ○広葉樹材も10月以降横ばいで山形県の年明け以降のデータなし。

針葉樹材



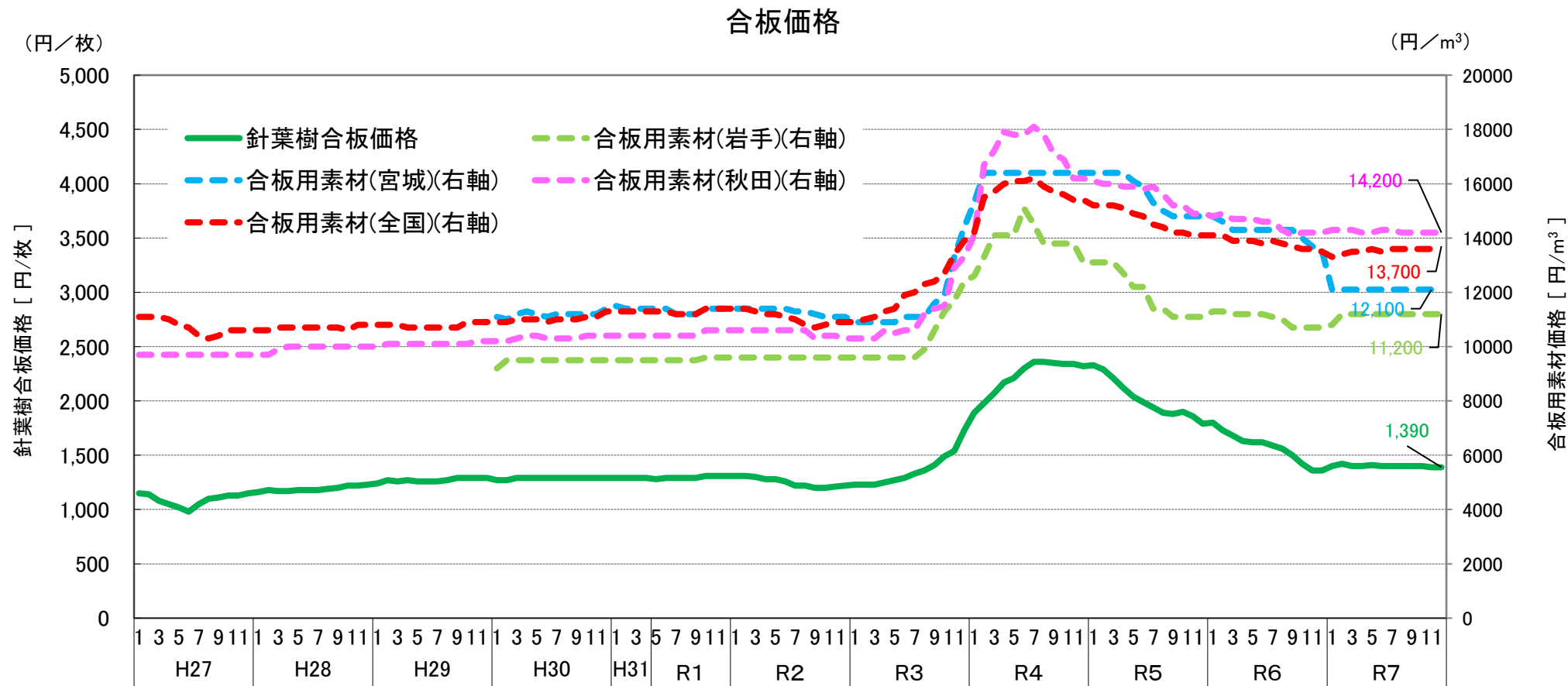
広葉樹材



出典：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」 ※ 工場着価格。

# 針葉樹合板及び合板用素材価格の推移 (平成27年1月～令和7年12月)

- 針葉樹合板価格は、1,390円/枚。
- 合板用素材価格は、10月以降横ばいである。



針葉樹合板: 厚さ1.2cm、幅91.0cm、長1.82m、1類

出典: 農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

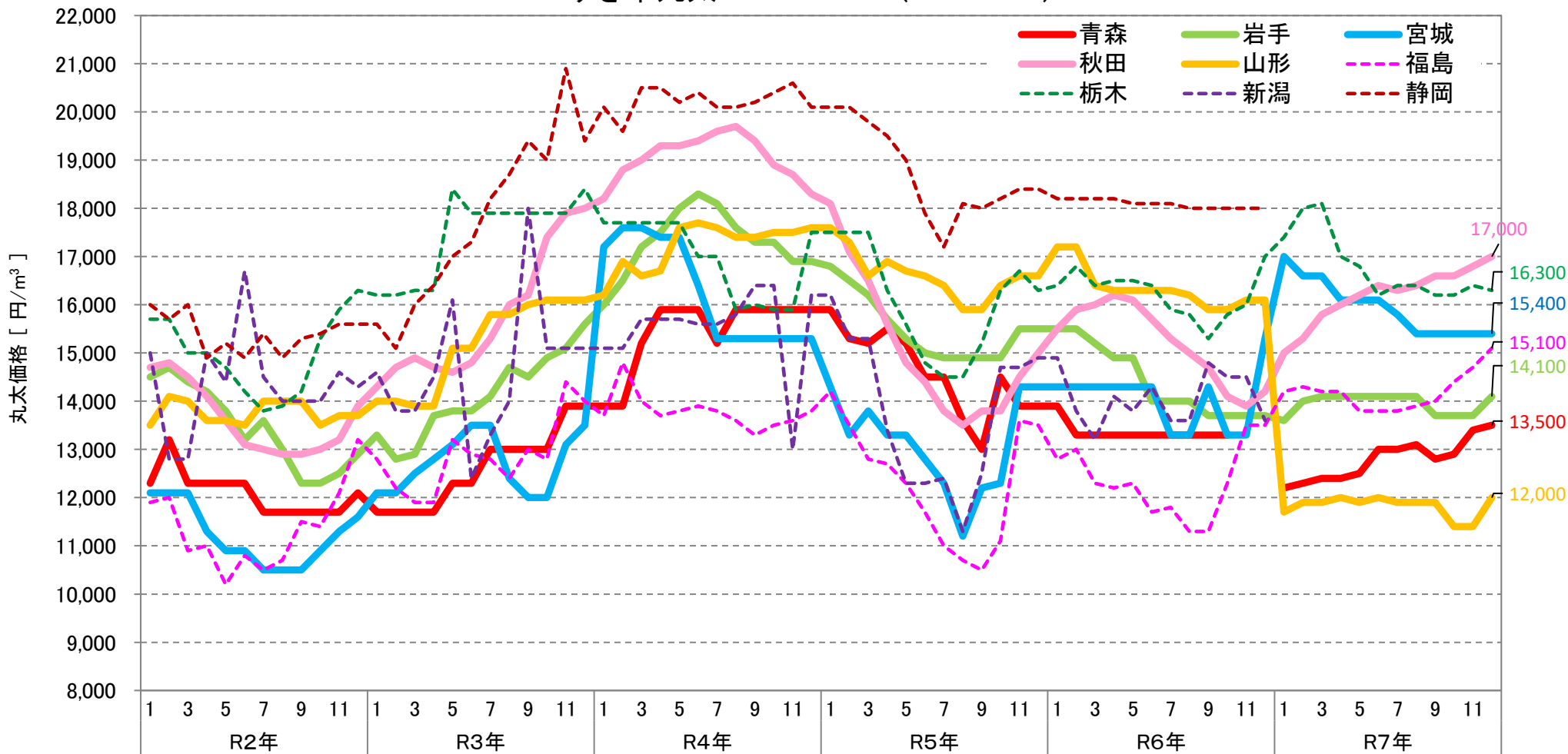
※ 平成30年1月に調査都道府県、調査対象工場の見直しを行ったことから、平成29年12月以前の数値とは接続しない。

※ 針葉樹合板価格は、木材市売市場、木材センター及び木材卸売業者における小売業者への店頭渡し価格。合板用素材価格は、合単板工場着購入価格である。

# ■ 関東地方との木材価格の比較 (令和2年1月～令和7年12月)

○ すぎ中丸太の価格は、10月以降青森・岩手・秋田・山形・福島で値上がり傾向にあり、宮城・栃木は同価格・横ばいである。

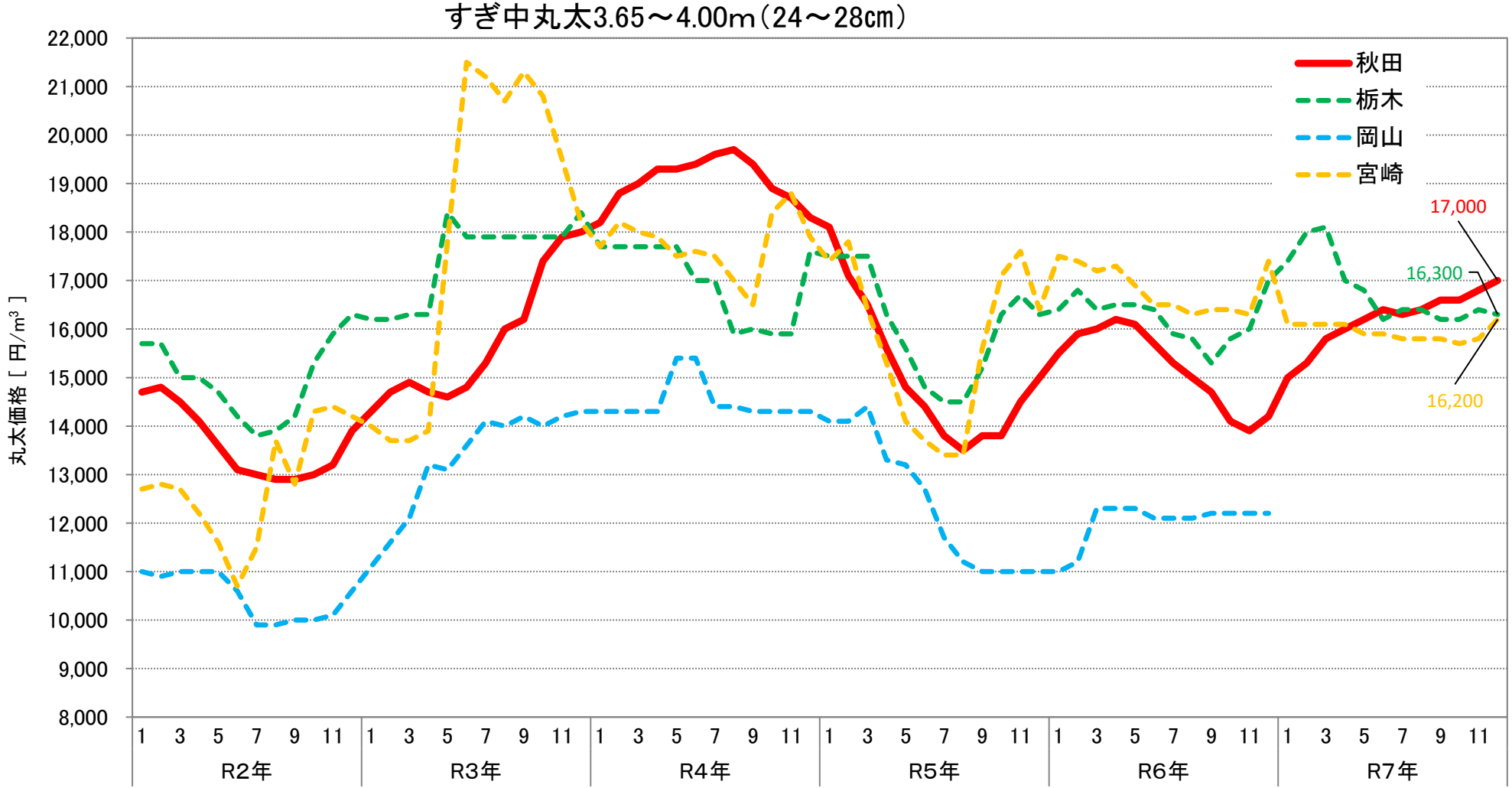
すぎ中丸太 3.65～4.00m (24～28cm)



出典：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」 ※ 工場着価格。

# ■ 関東、関西、九州地方との木材価格の比較（令和2年1月～令和7年12月）

○ 10月から12月にかけて秋田で400円/m<sup>3</sup>、宮崎で500円/m<sup>3</sup>、栃木で100円/m<sup>3</sup>の値上げとなっている。



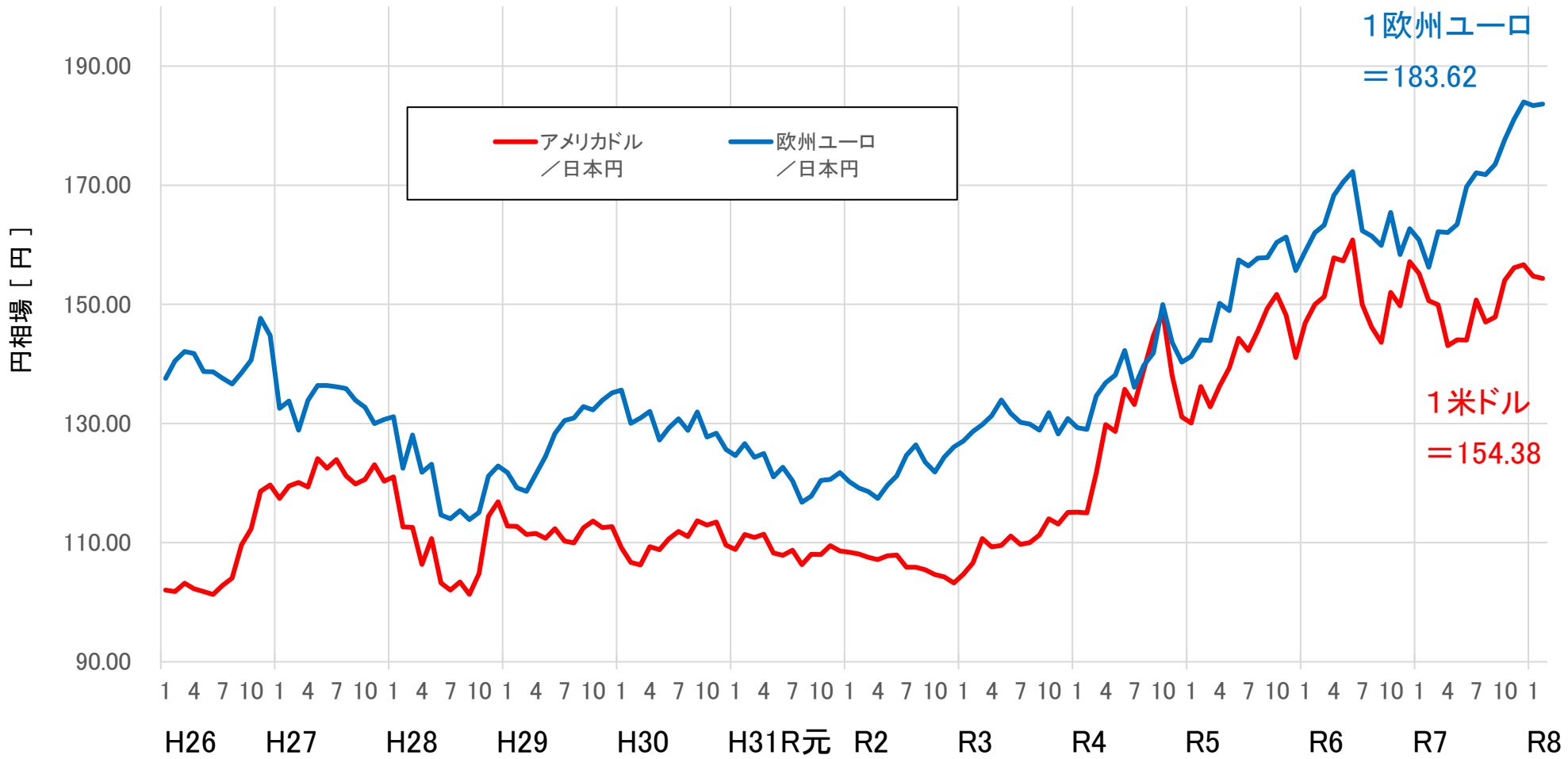
出典：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」 ※ 工場着価格。



# 為替レートの推移 (平成26年1月～令和8年2月)

○ 米ドルは、2月1日現在154円台。  
 ○ 欧州ユーロは、2月1日現在183円台。

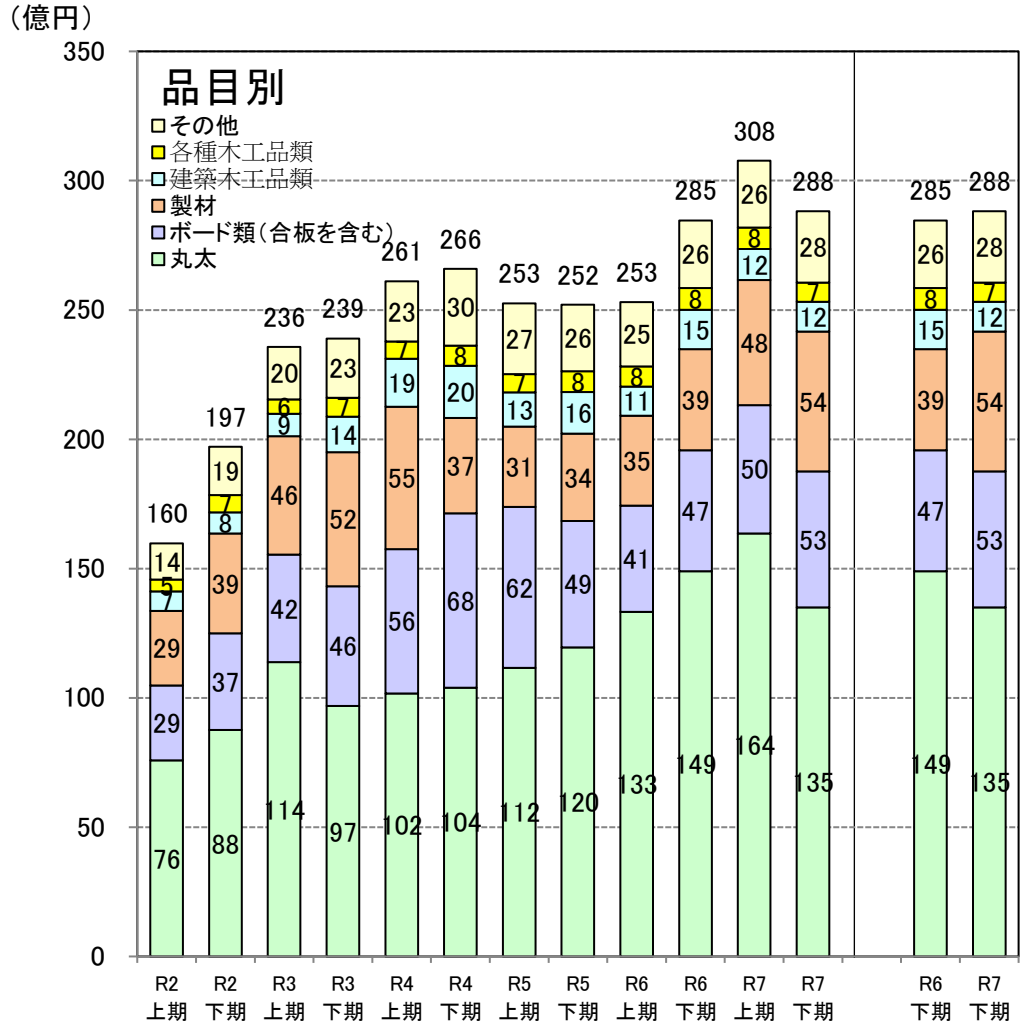
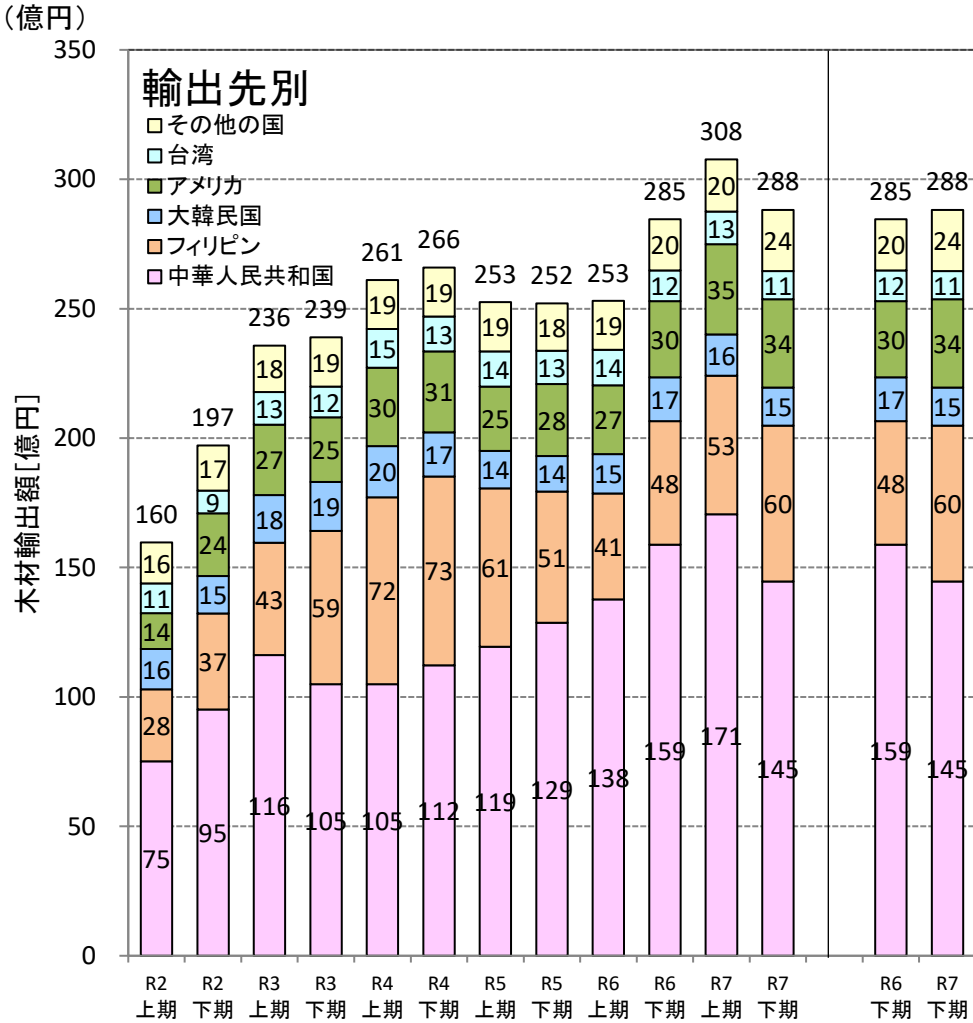
為替レートの推移



出典：Yahoo! ファイナンス(毎月の値は月初日の終値)  
 (注)：令和8年2月1日現在

# ■ 輸出先別及び品目別の木材輸出額の推移（全国）

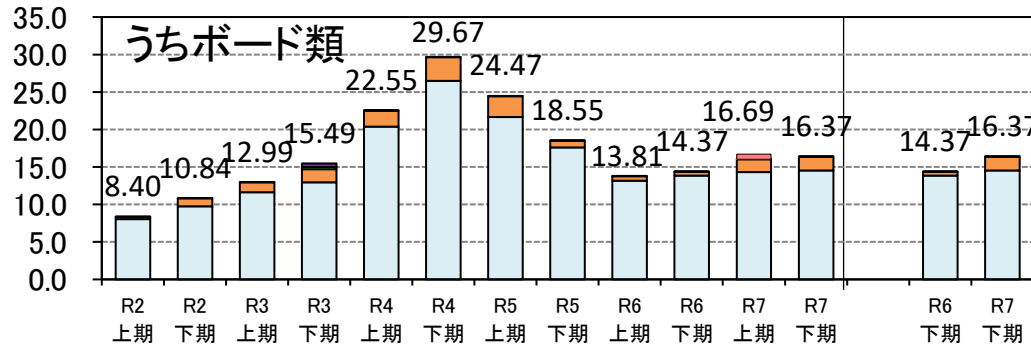
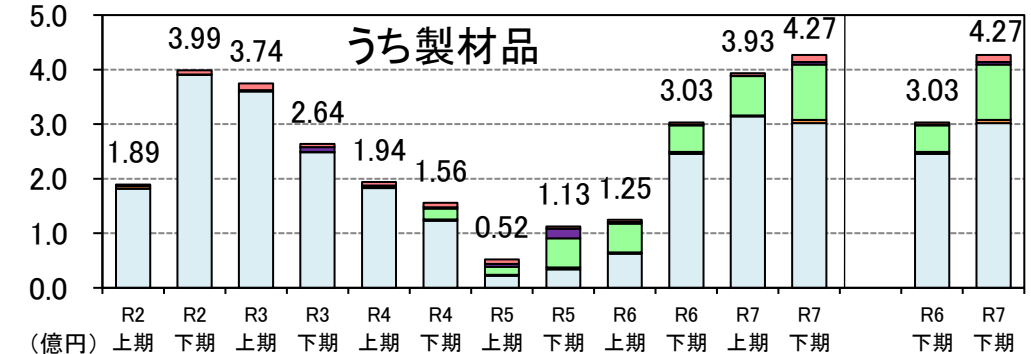
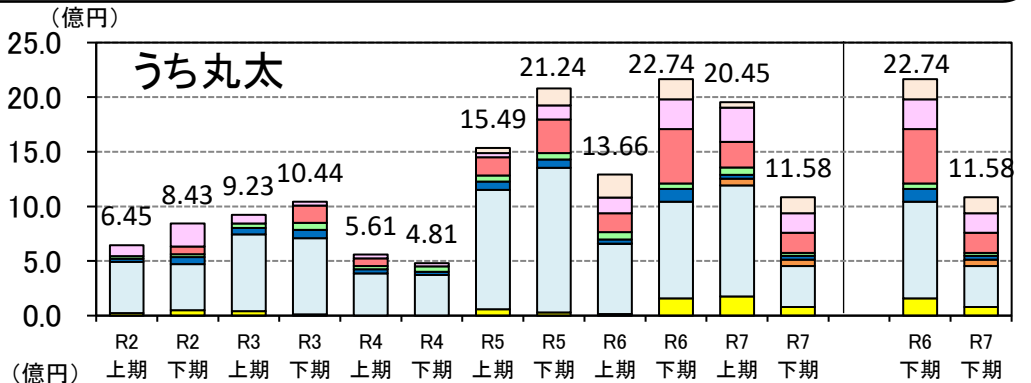
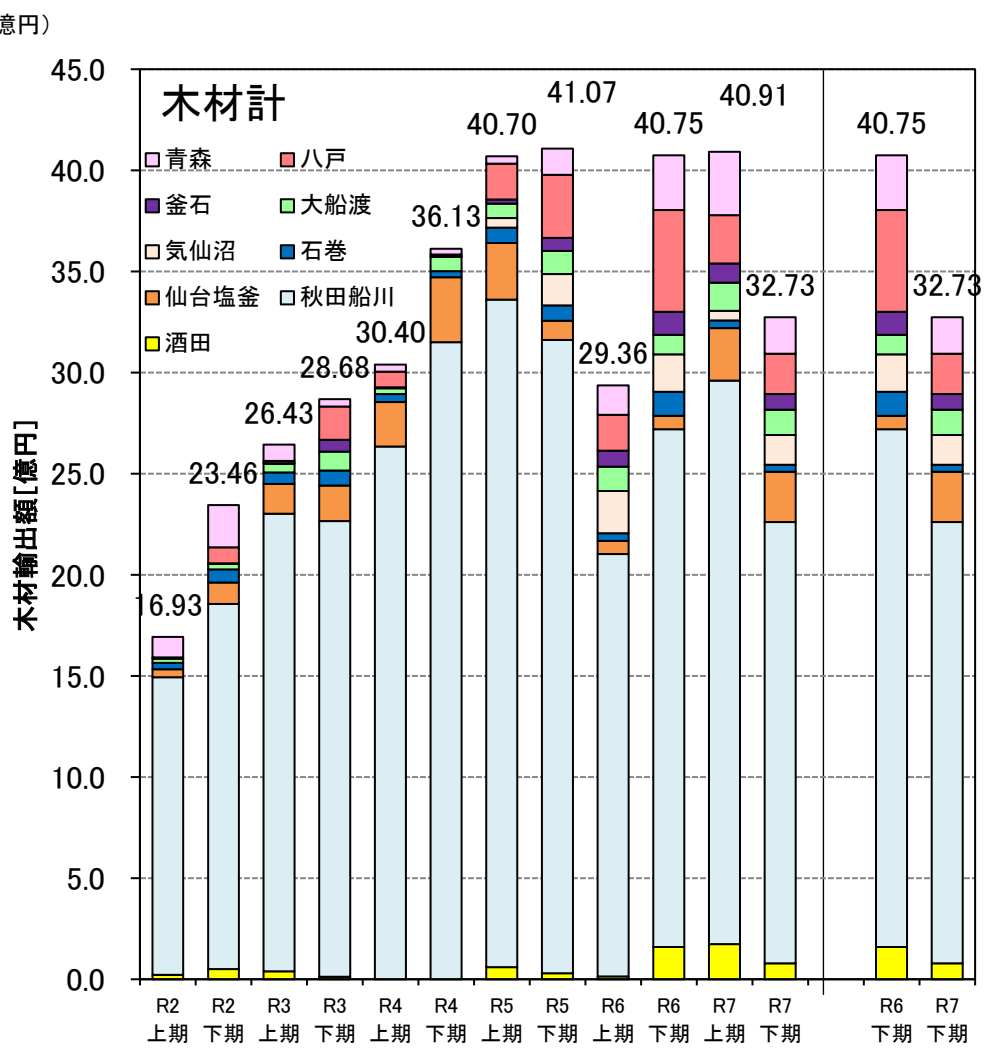
- 木材輸出額はR7年下期を昨年同期と比較すると+1%となっている。
- R7年下期の主要相手国は、中国、フィリピン、アメリカ、韓国、台湾となっている。
- 品目別輸出額では、丸太が最も高く、次いで製材、ボード類となっている。
- R7年下期と昨年同期を比較すると、丸太が-9%、製材が+38%、ボード類が+13%となっている。



出典：財務省「貿易統計：統計品別国別税関別一覧表」

# ■ 東北5県における木材輸出額の推移

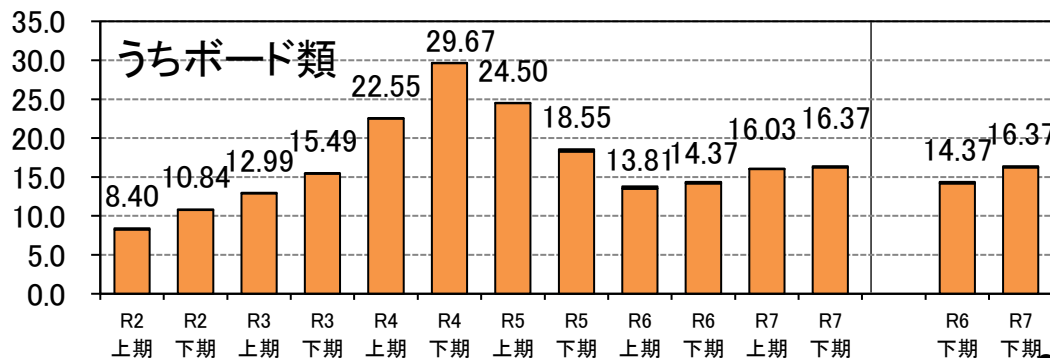
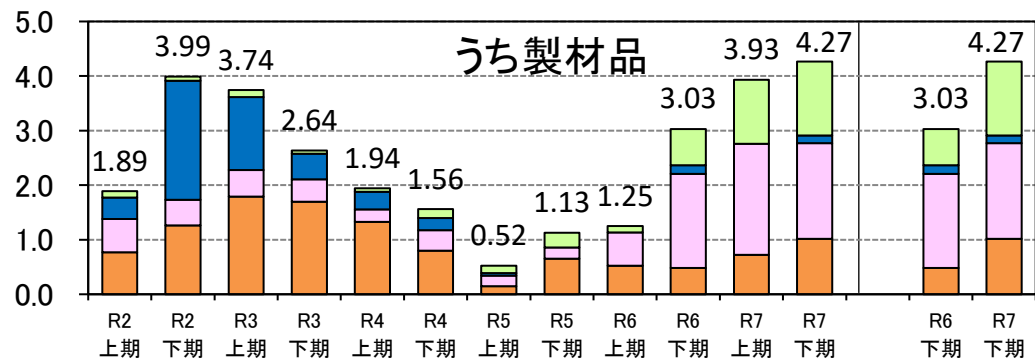
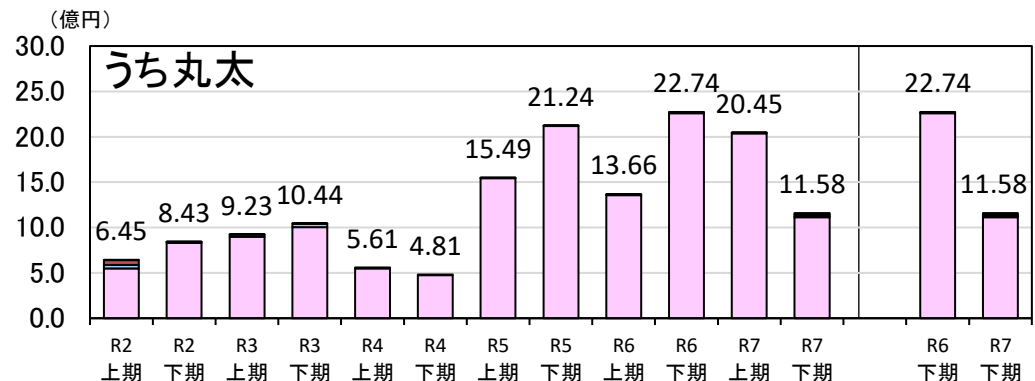
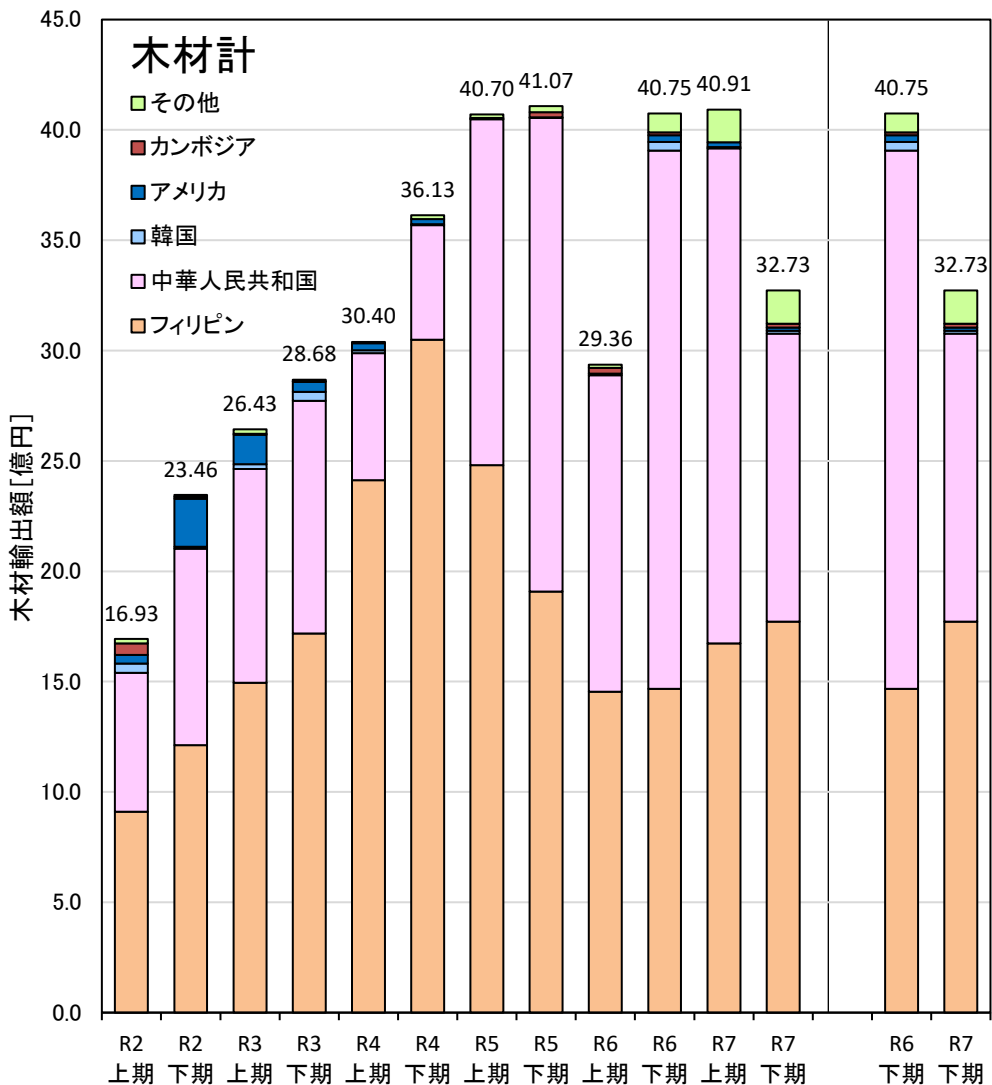
○ R7年下期と昨年同期を比較すると-19.7%となっている。  
 ○ 品目別のR7年下期は昨年同期と比較して、丸太が-49.1%、製材が+40.9%、ボード類が+13.9%となっている。



出典：財務省「貿易統計：統計品別国別税関別一覧表」

# ■ 東北5県における輸出先別の木材輸出額の推移

- R7年下期の木材輸出額は、フィリピンが最も多く、次いで中国、カンボジアとなっている。
- 品目別では、丸太、製材は中国が最も多く、ボード類はフィリピンが最も多くなっている。

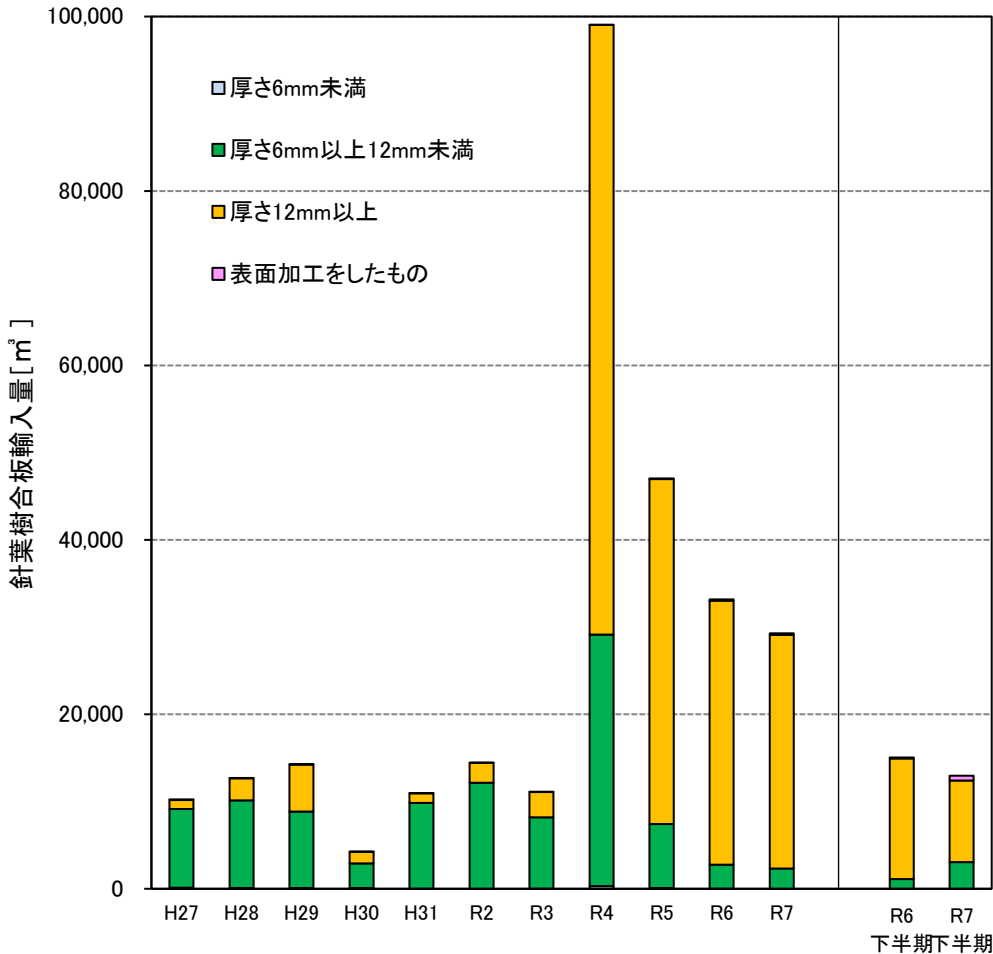


出典：財務省「貿易統計：統計品別国別税関別一覧表」

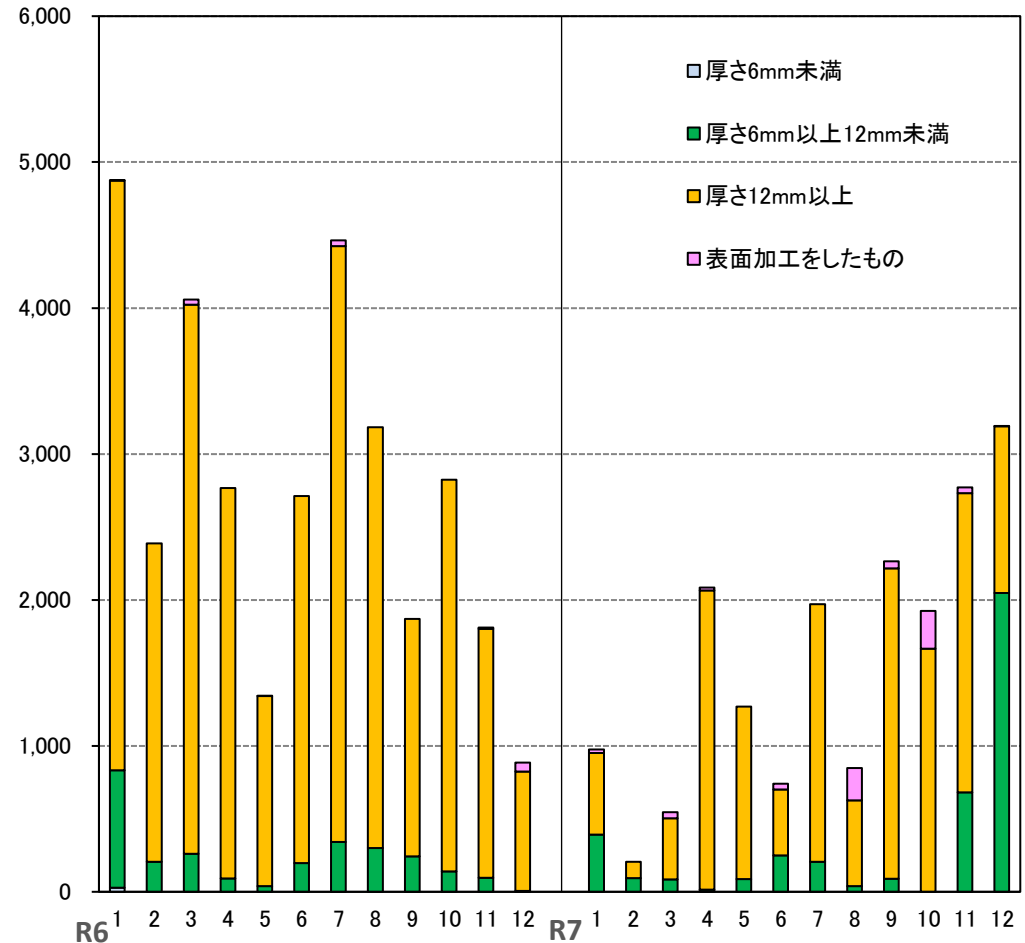
# 中国からの針葉樹合板の輸入量の推移

- R7年下期と昨年同期を比較すると、-13.8%となっている。
- R7年の輸入量を月別に見ると、12月が最も多くなっている。

中国からの合板輸入量(年別)



中国からの合板輸入量(R6・R7月別、m³)

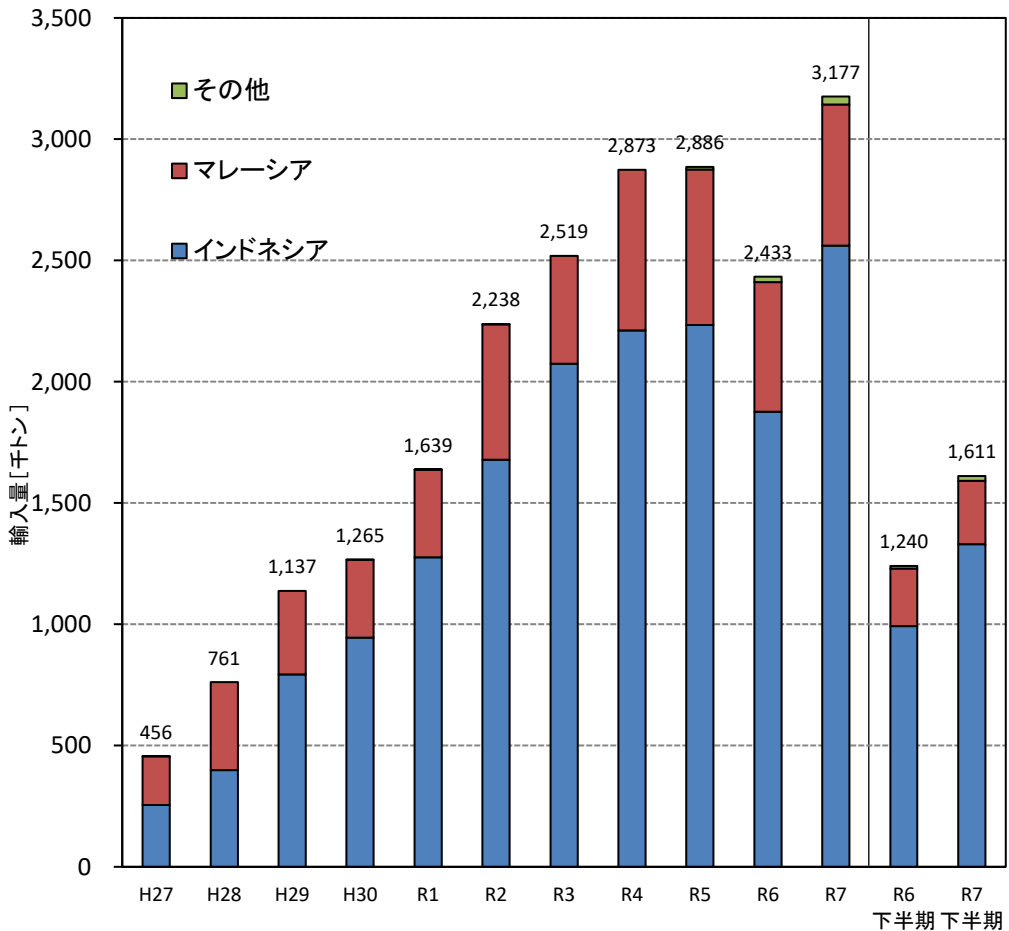


出典: 財務省「貿易統計: 品別国別表」

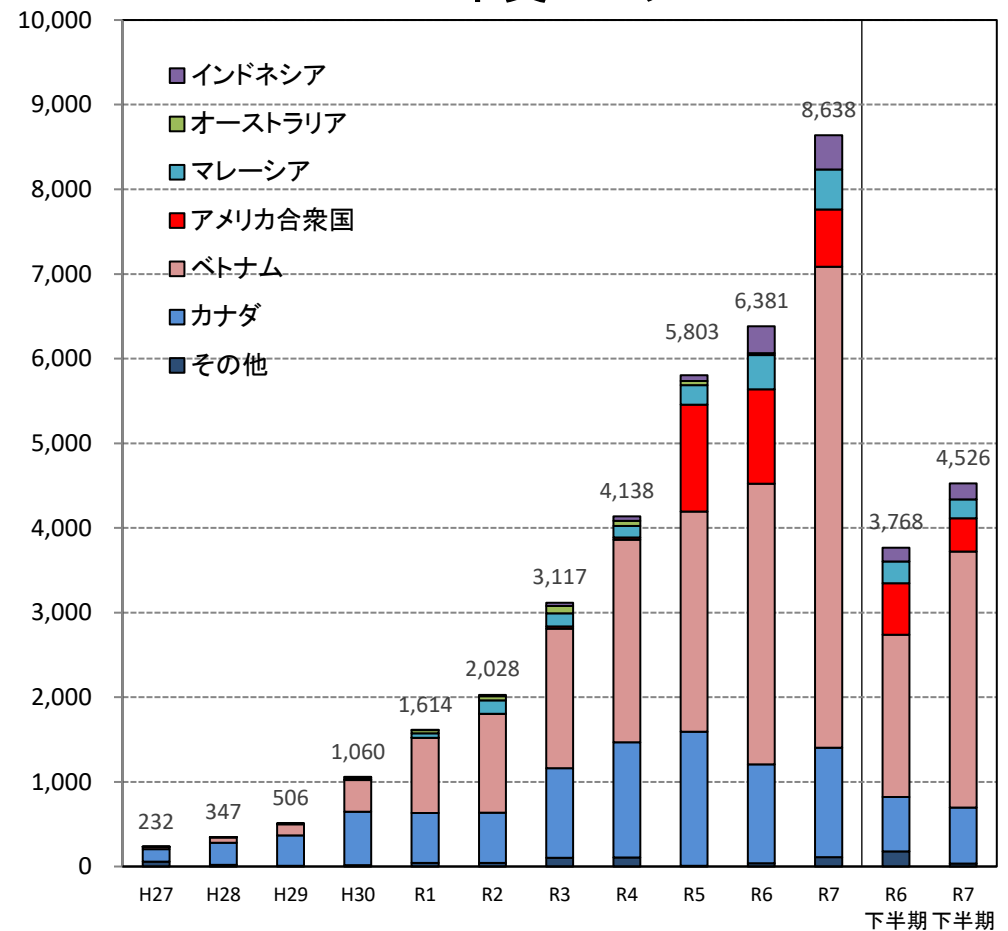
# PKS・木質ペレットの輸入量の推移

- PKS輸入量は、R7年下期と昨年同期を比較すると、+30%となっている。
- 主な輸入相手国は、インドネシア83%、マレーシア16%となっている。
- 木質ペレット輸入量は、R7年下期と昨年同期を比較すると、+20%となっている。
- 主な輸入相手国は、ベトナム67%、カナダ15%、アメリカ9%となっている。

## PKS



## 木質ペレット

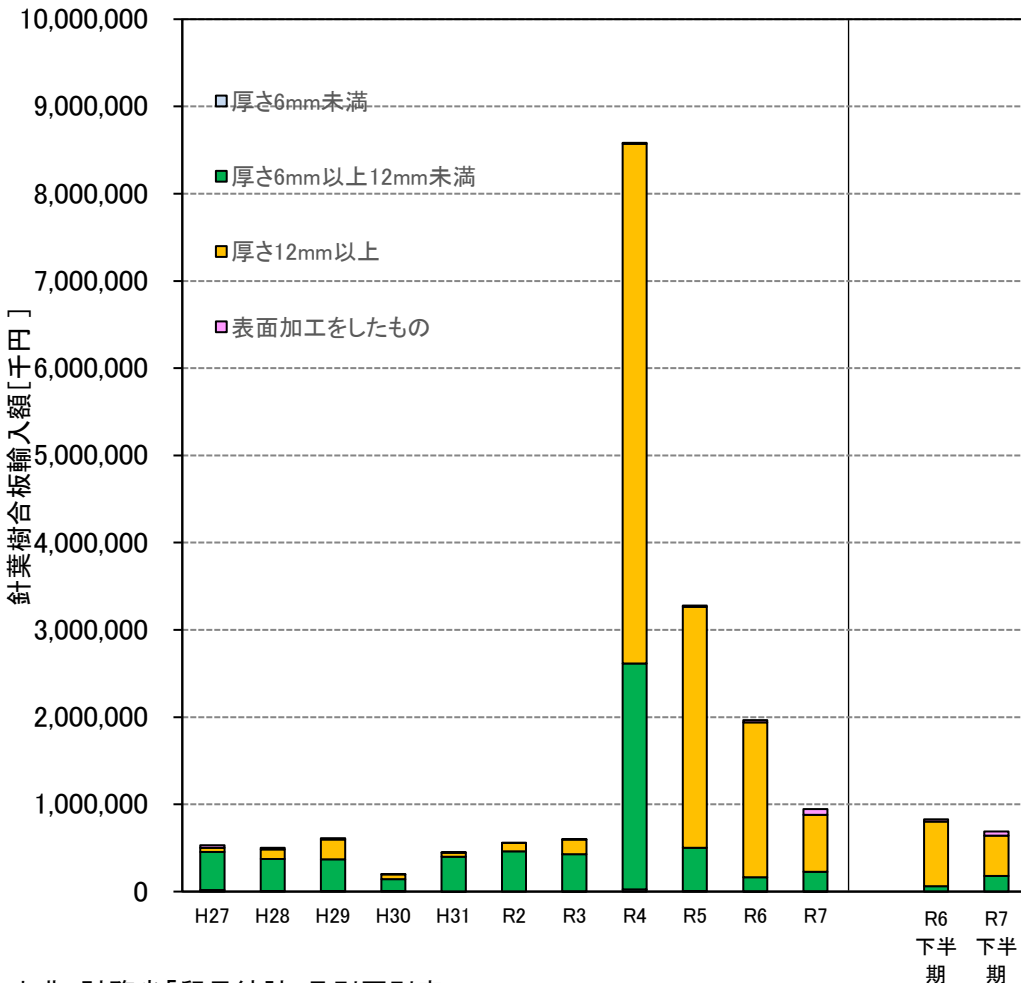


出典：財務省「貿易統計：品別国別統計」

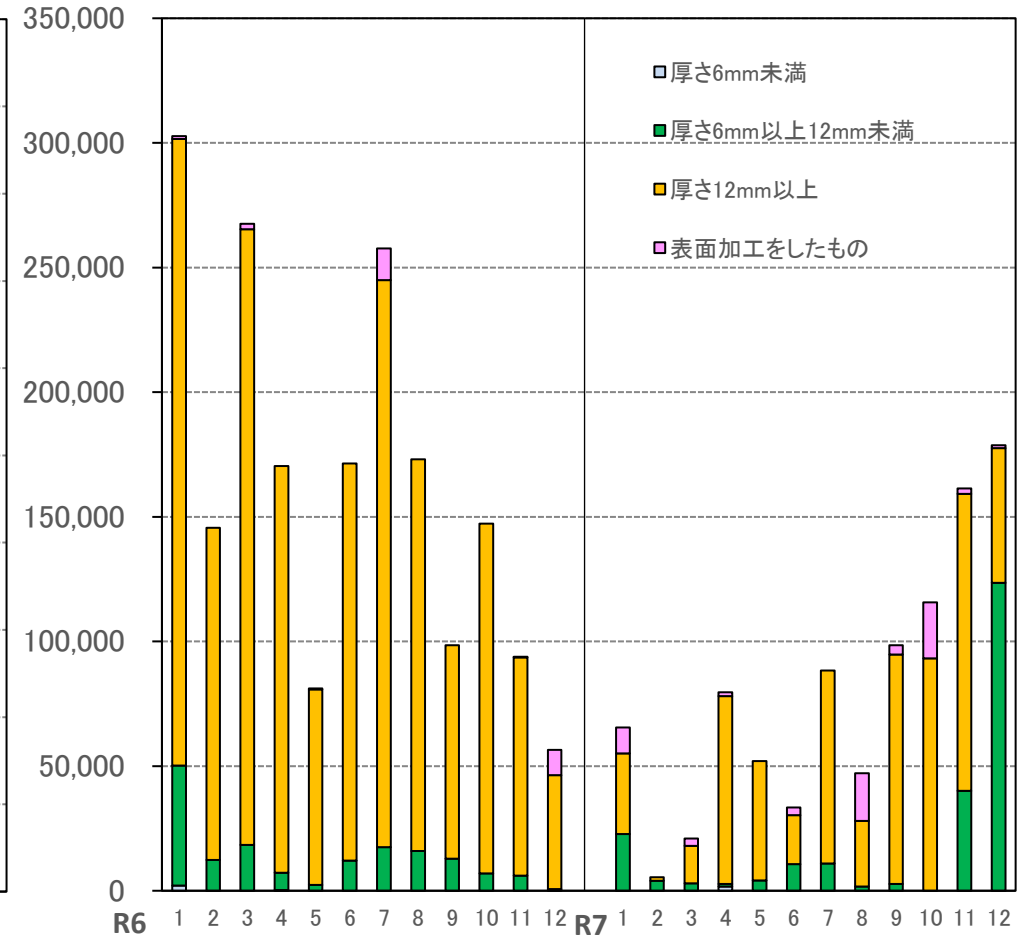
# 中国からの針葉樹合板の輸入額の推移

- R7年下期を昨年同期を比較すると、-16.6%となっている。
- R7年の輸入額を月別に見ると、12月が最も多くなっている。

中国からの合板輸入額(年別)



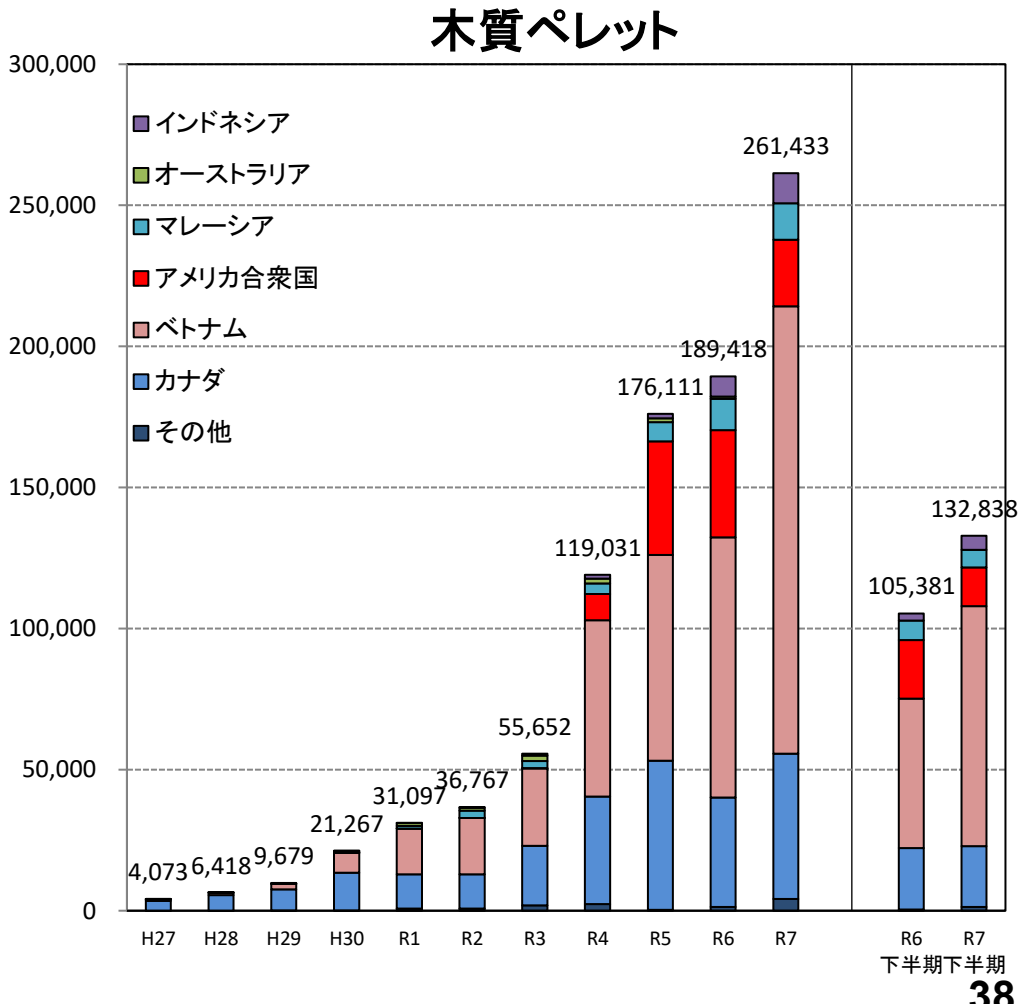
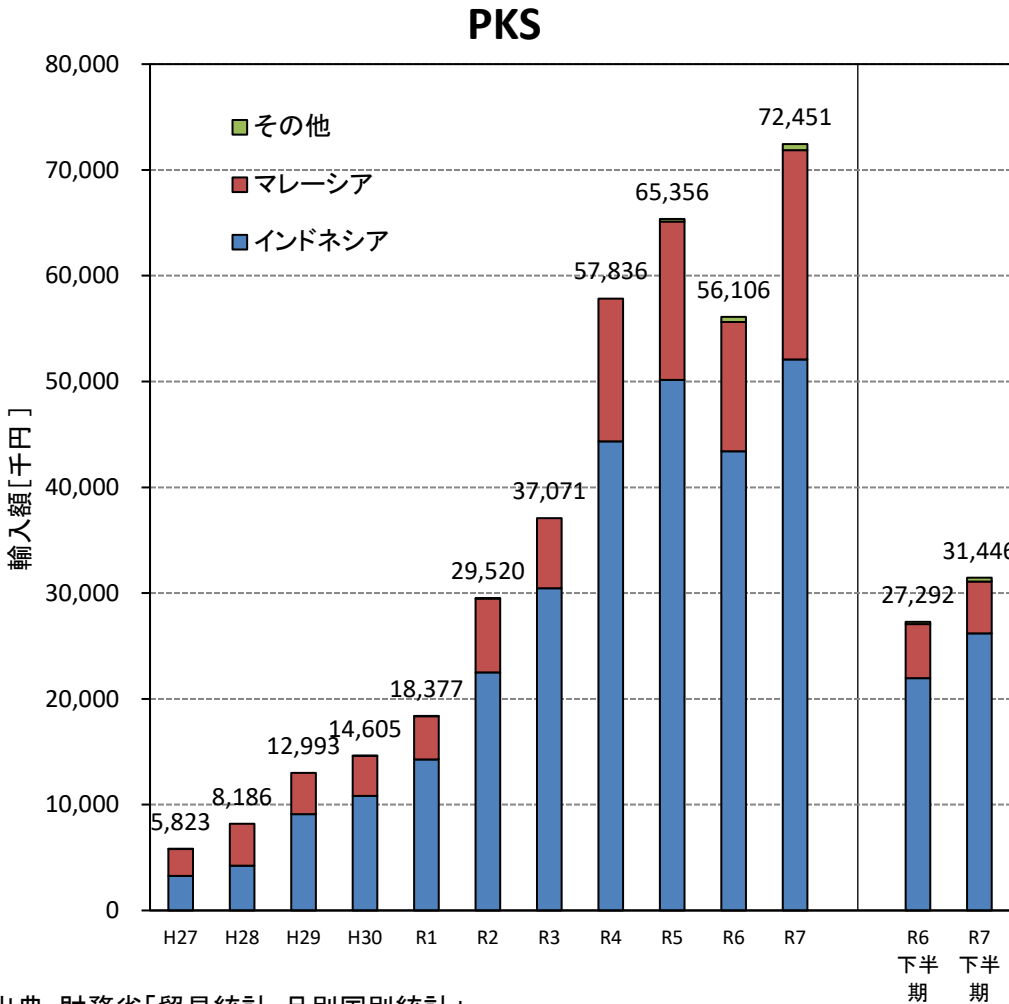
中国からの合板輸入額(R6、R7月別、千円)



出典: 財務省「貿易統計: 品別国別表」

# PKS・木質ペレットの輸入額の推移

- PKS輸入量は、R7年下期と昨年同期を比較すると、+15%となっている。
- 主な輸入相手国は、インドネシア83%、マレーシア16%となっている。
- 木質ペレット輸入量も増加しており、R7年下期と昨年同期を比較すると、+26%となっている。
- 主な輸入相手国は、ベトナム64%、カナダ16%、マレーシア4.7%、インドネシア3.7%となっている。



出典：財務省「貿易統計：品別国別統計」